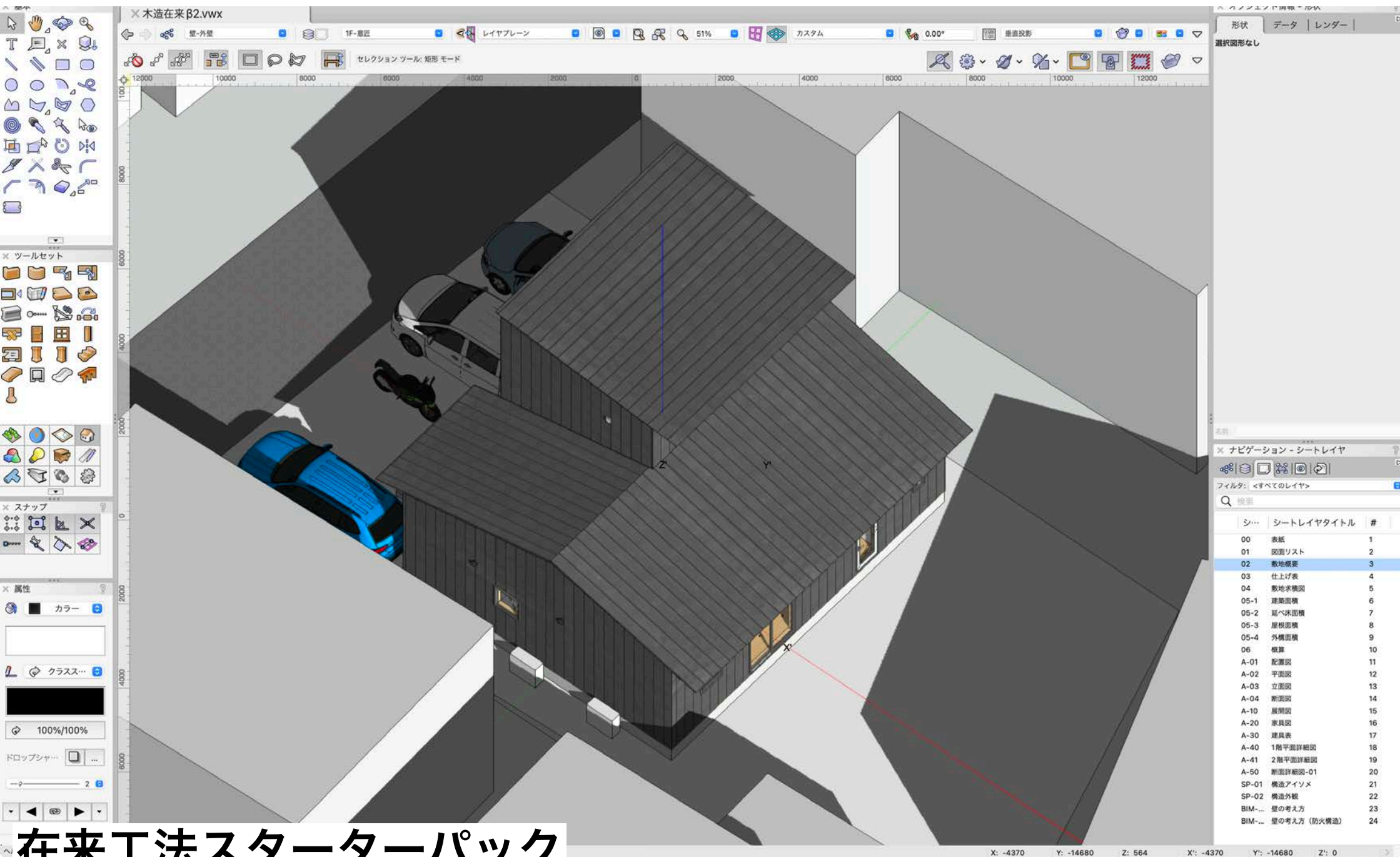
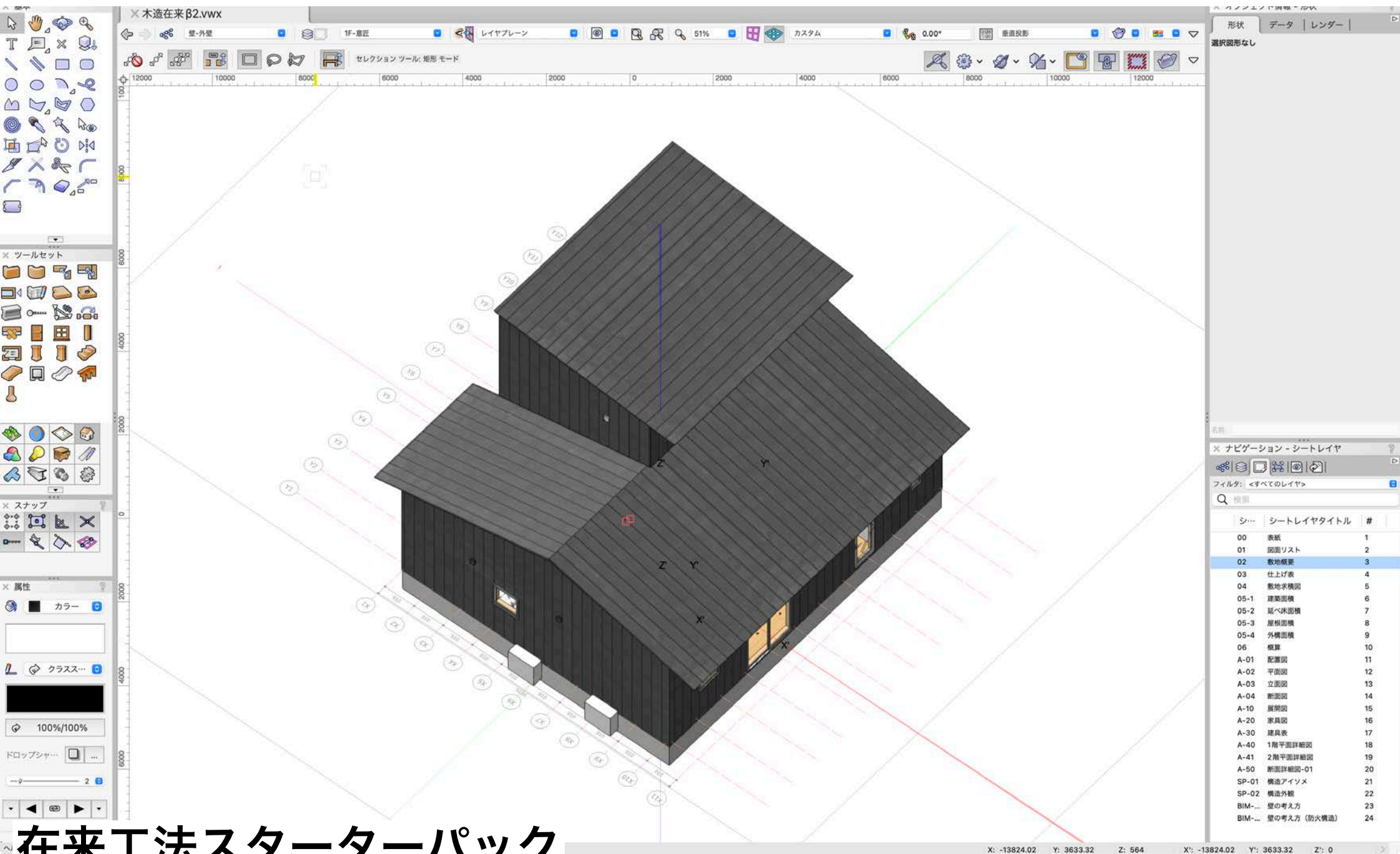


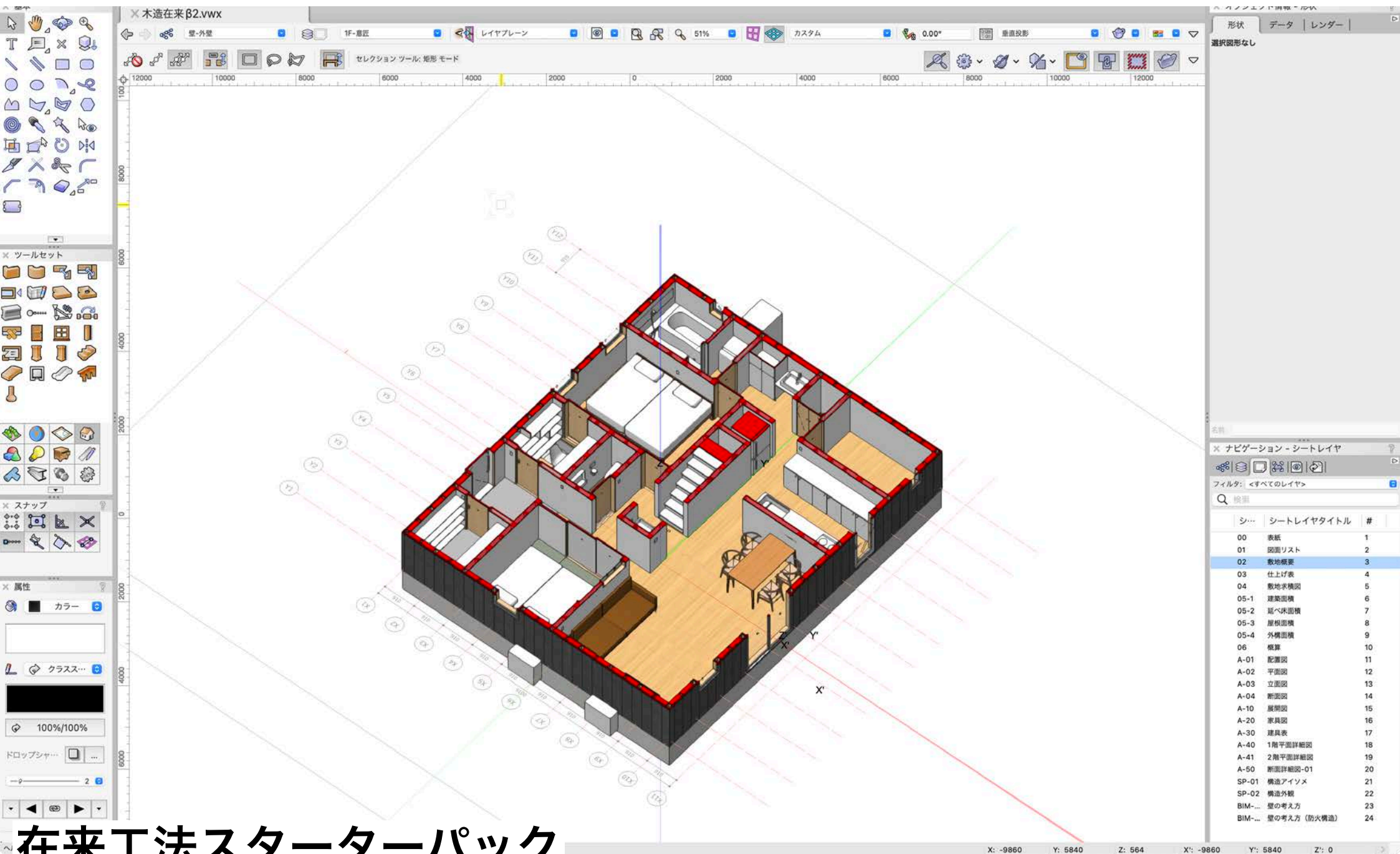
第2回中間報告

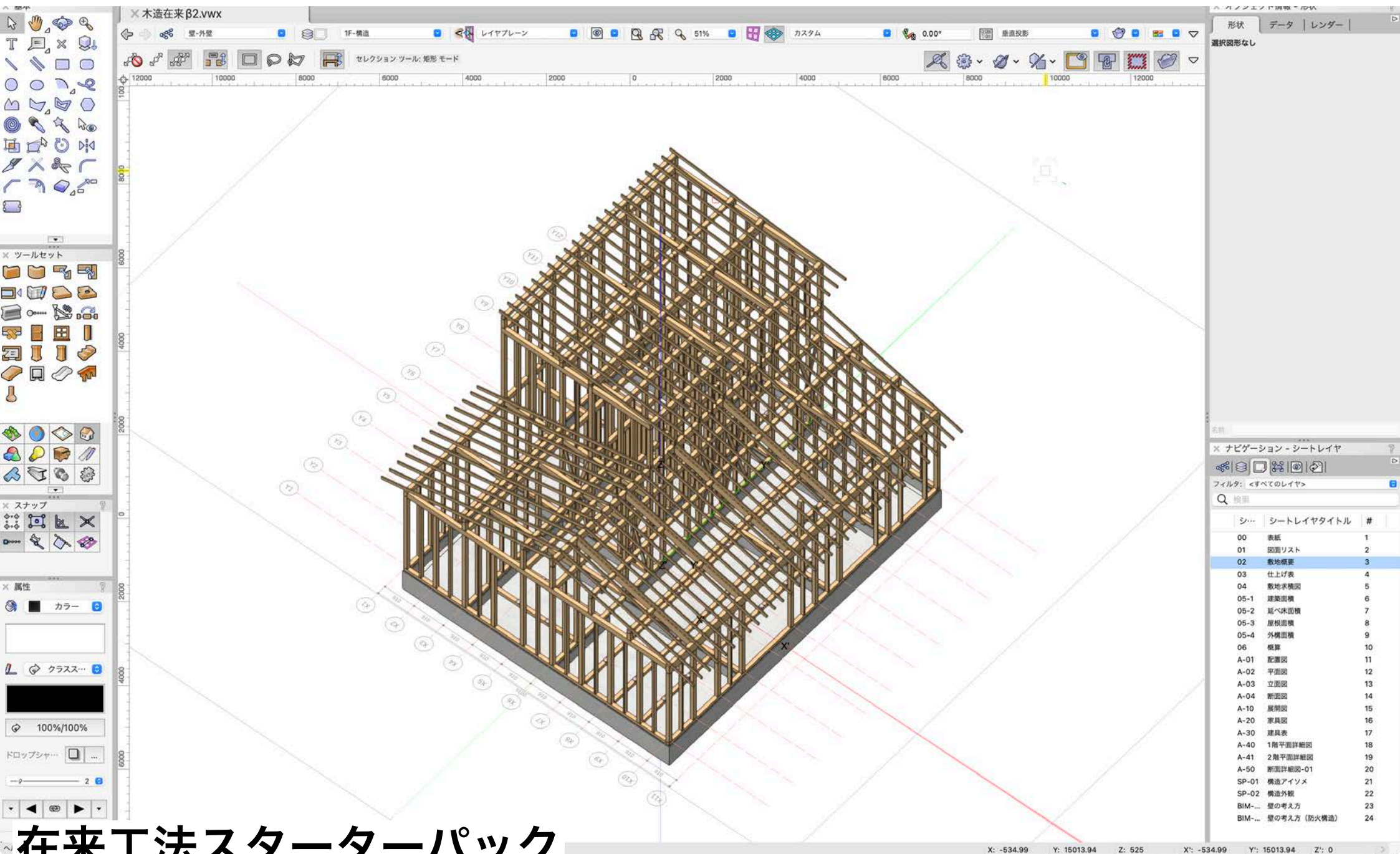
BIMスターターパック進行状況と課題

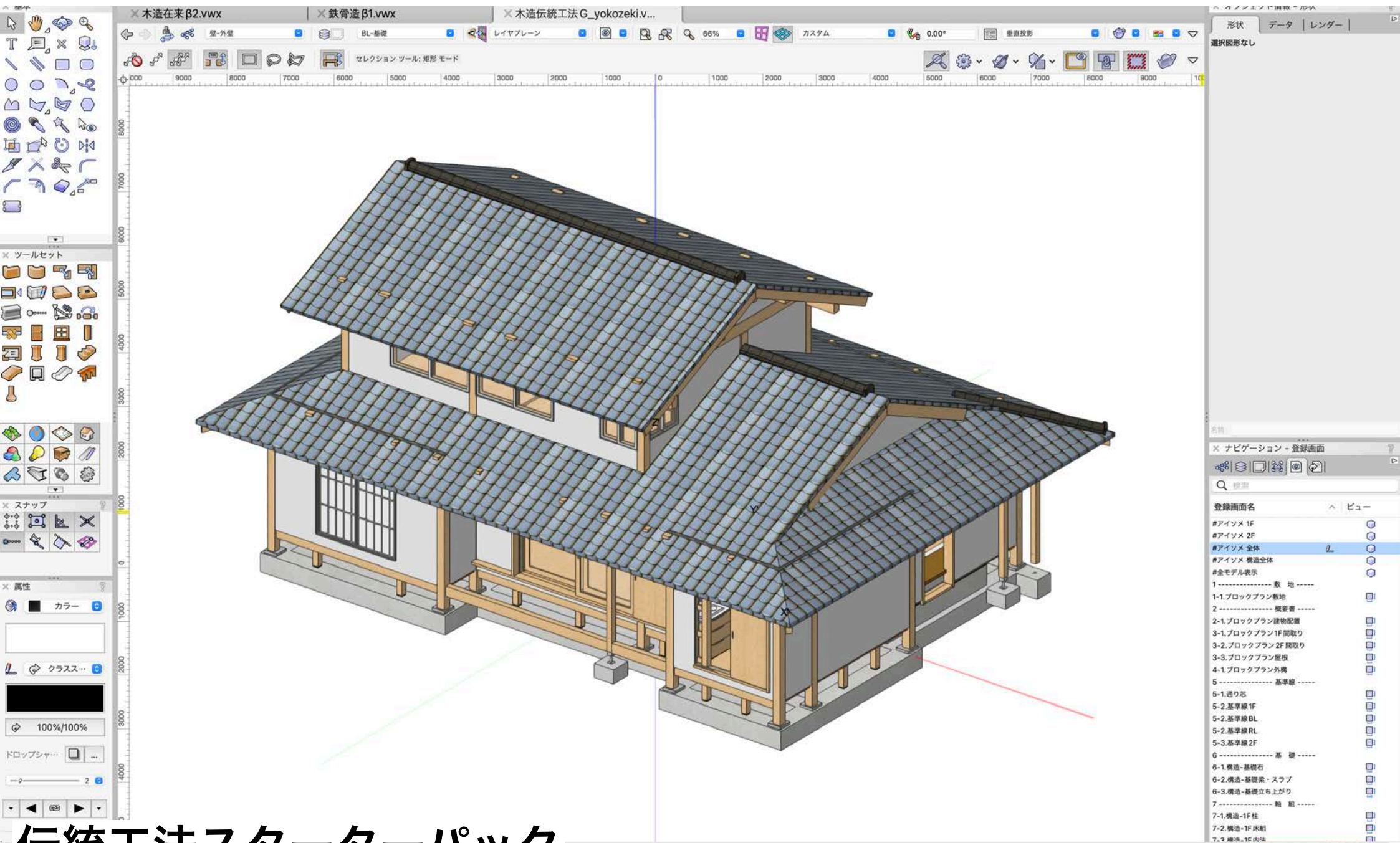
フローワークス合同会社 横関 浩



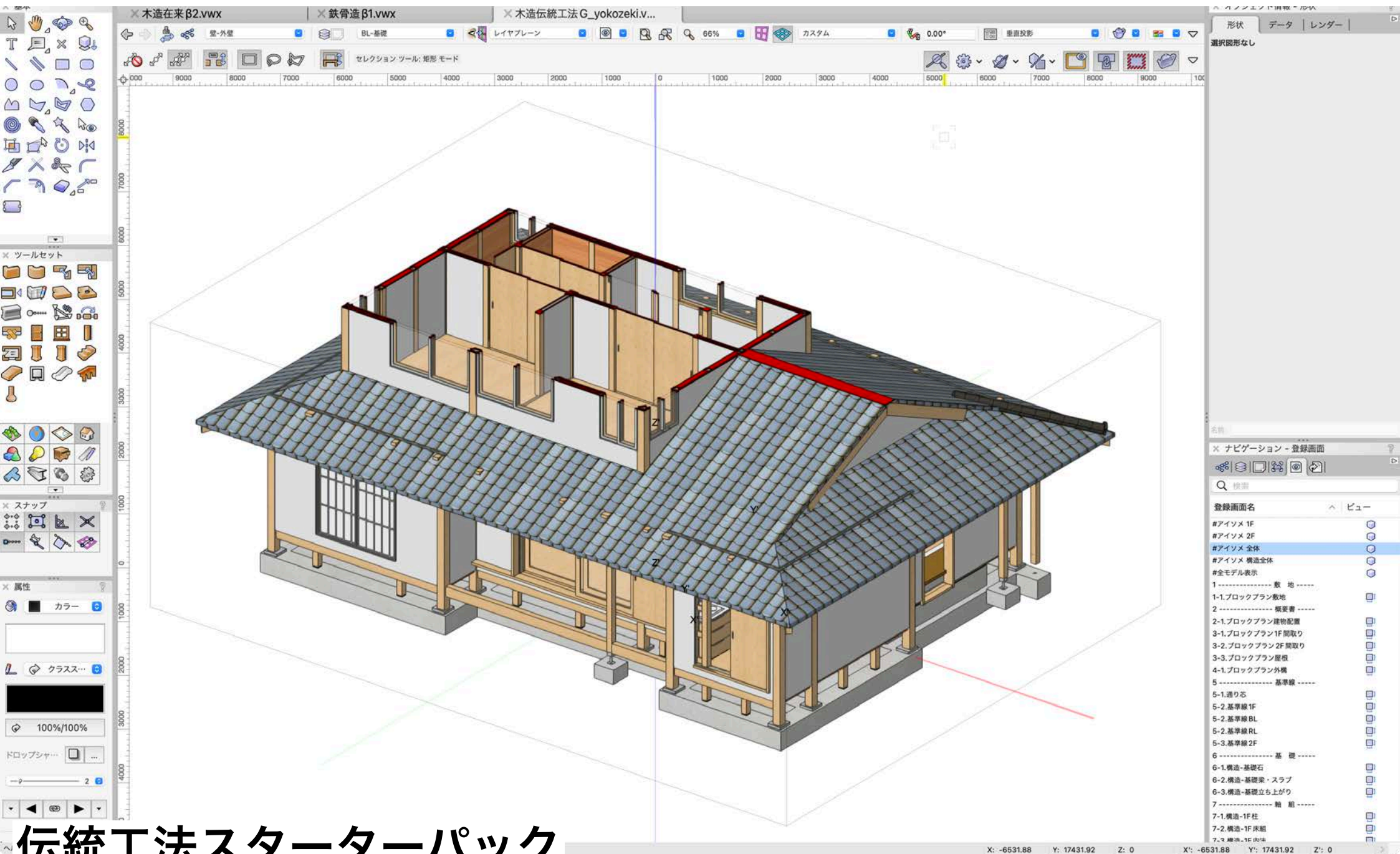


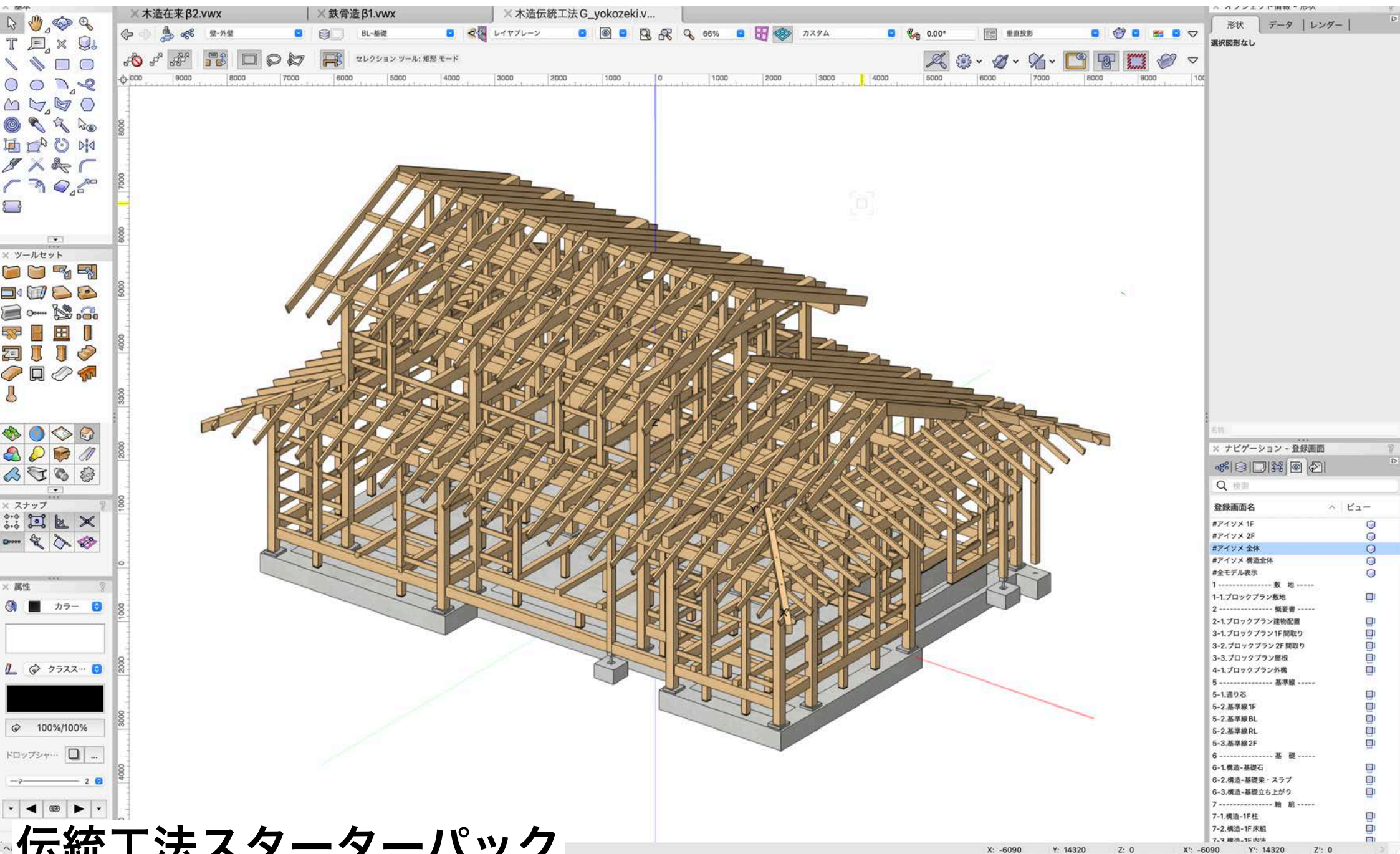


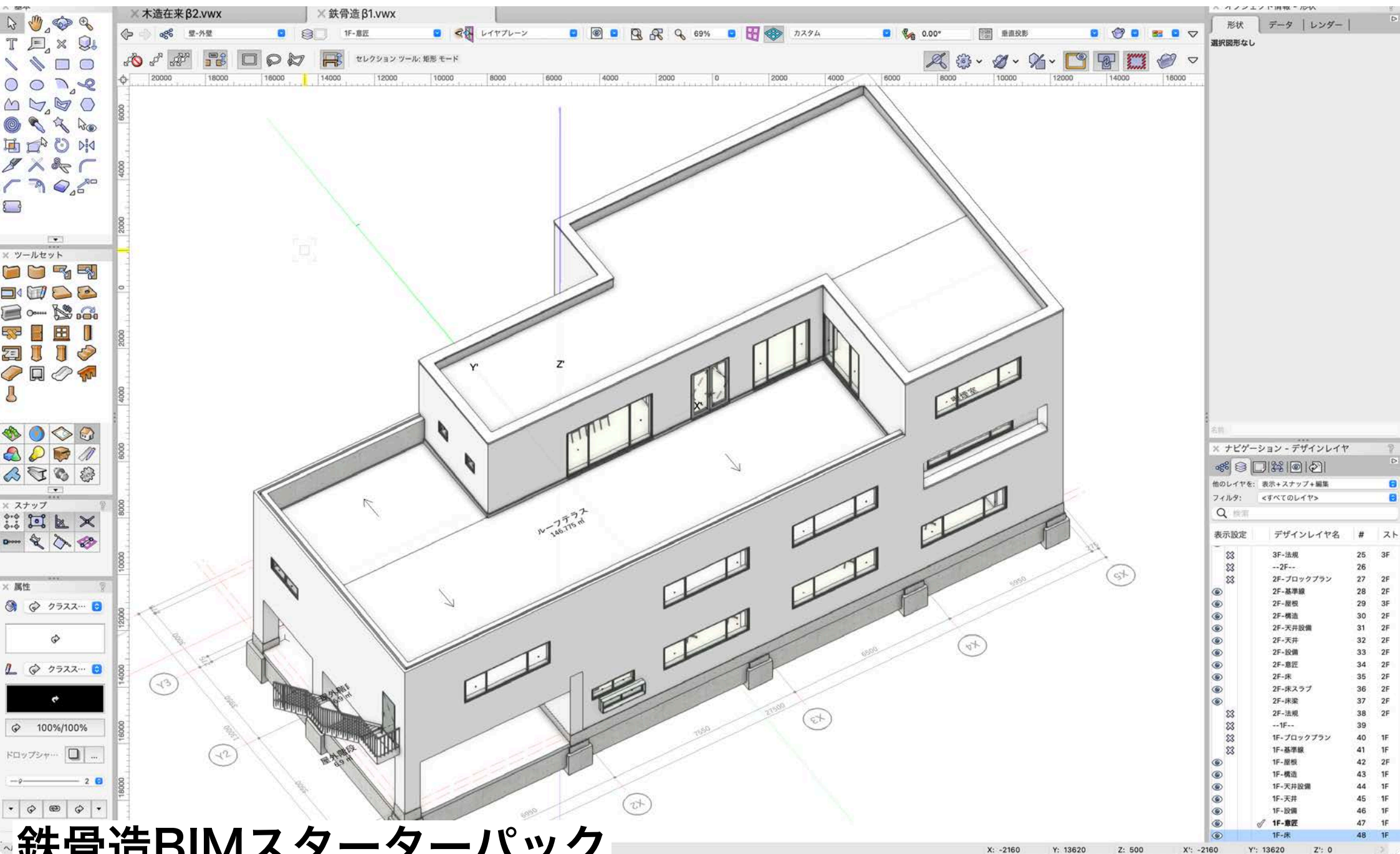


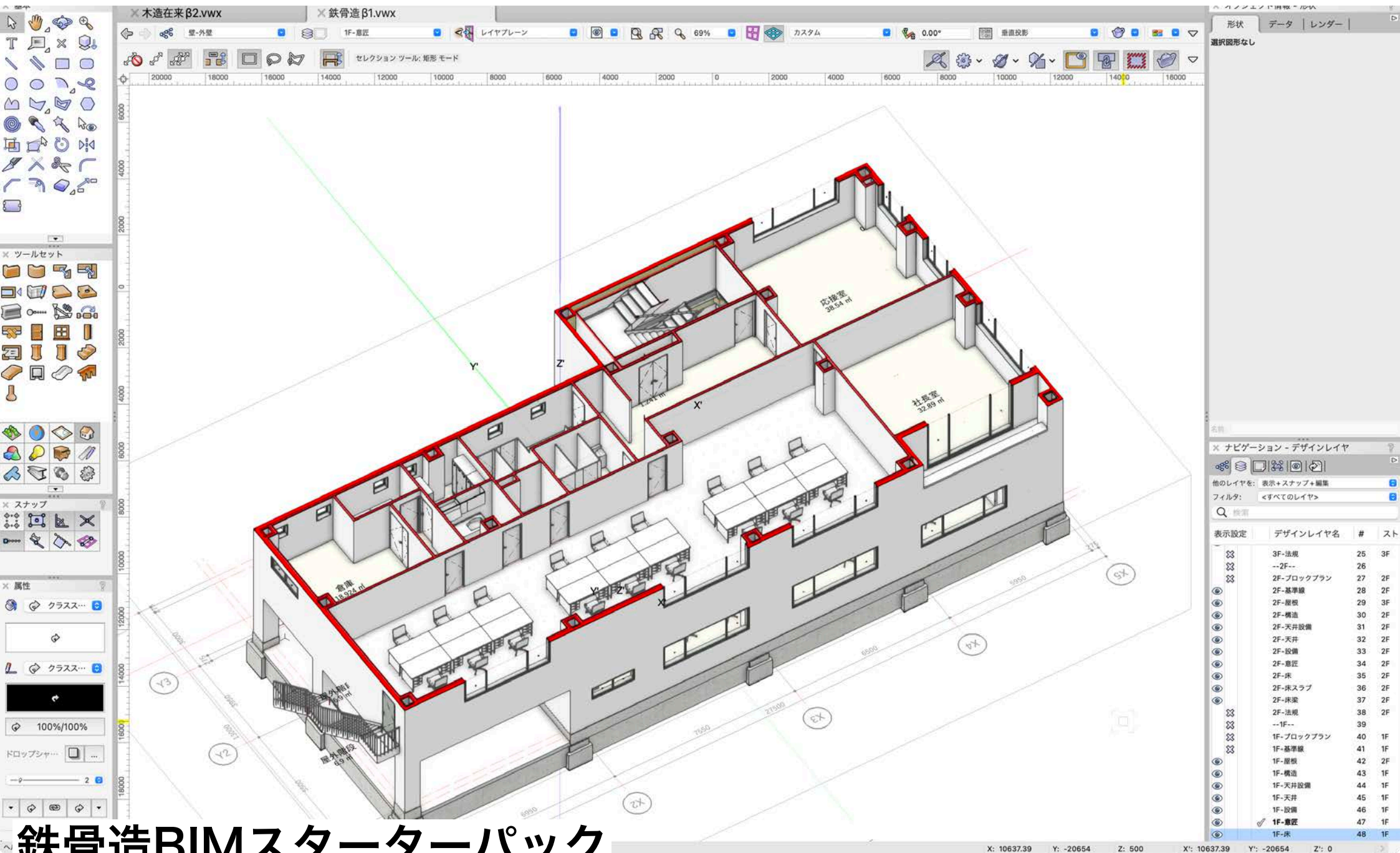


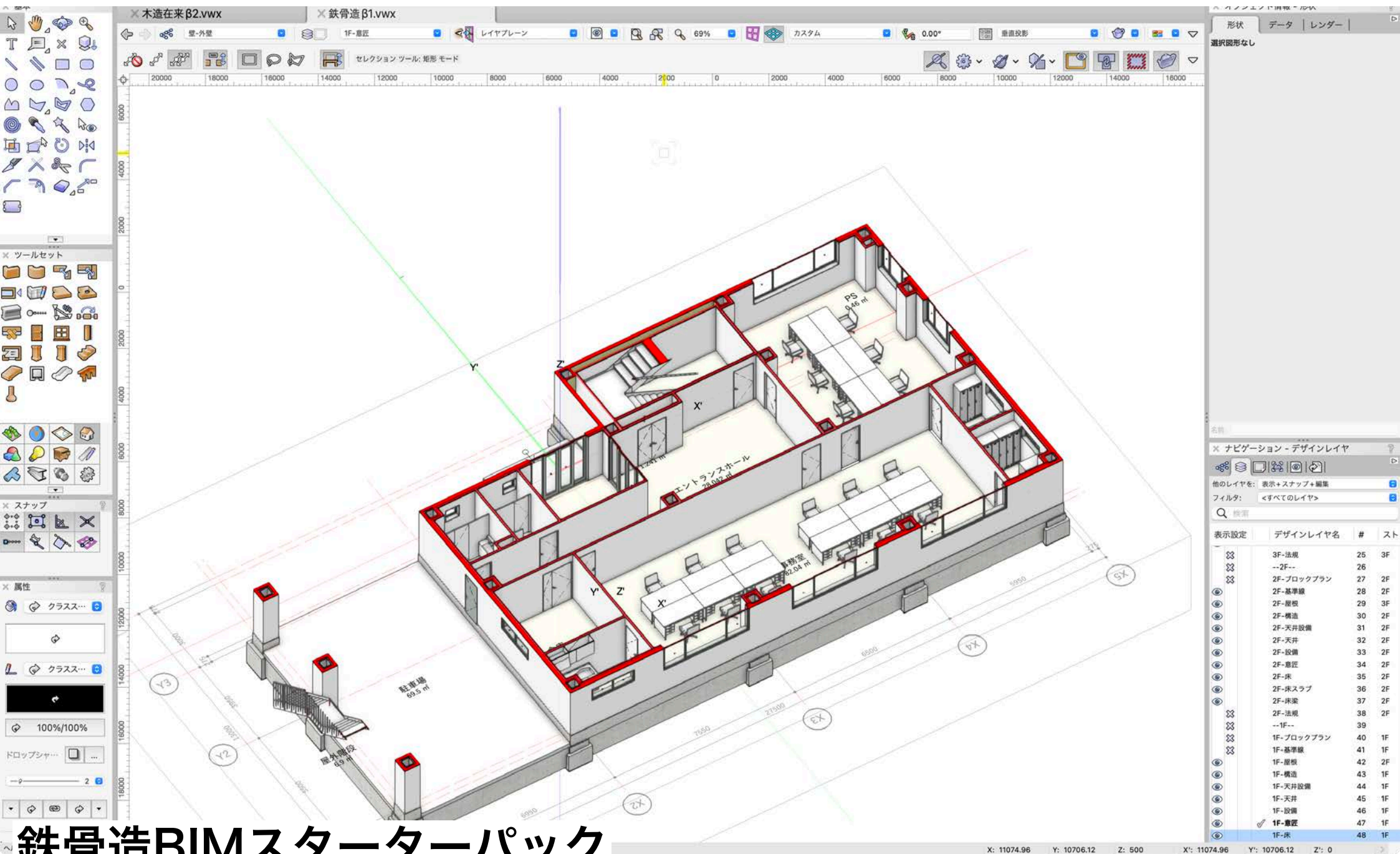
伝統工法スターターパック

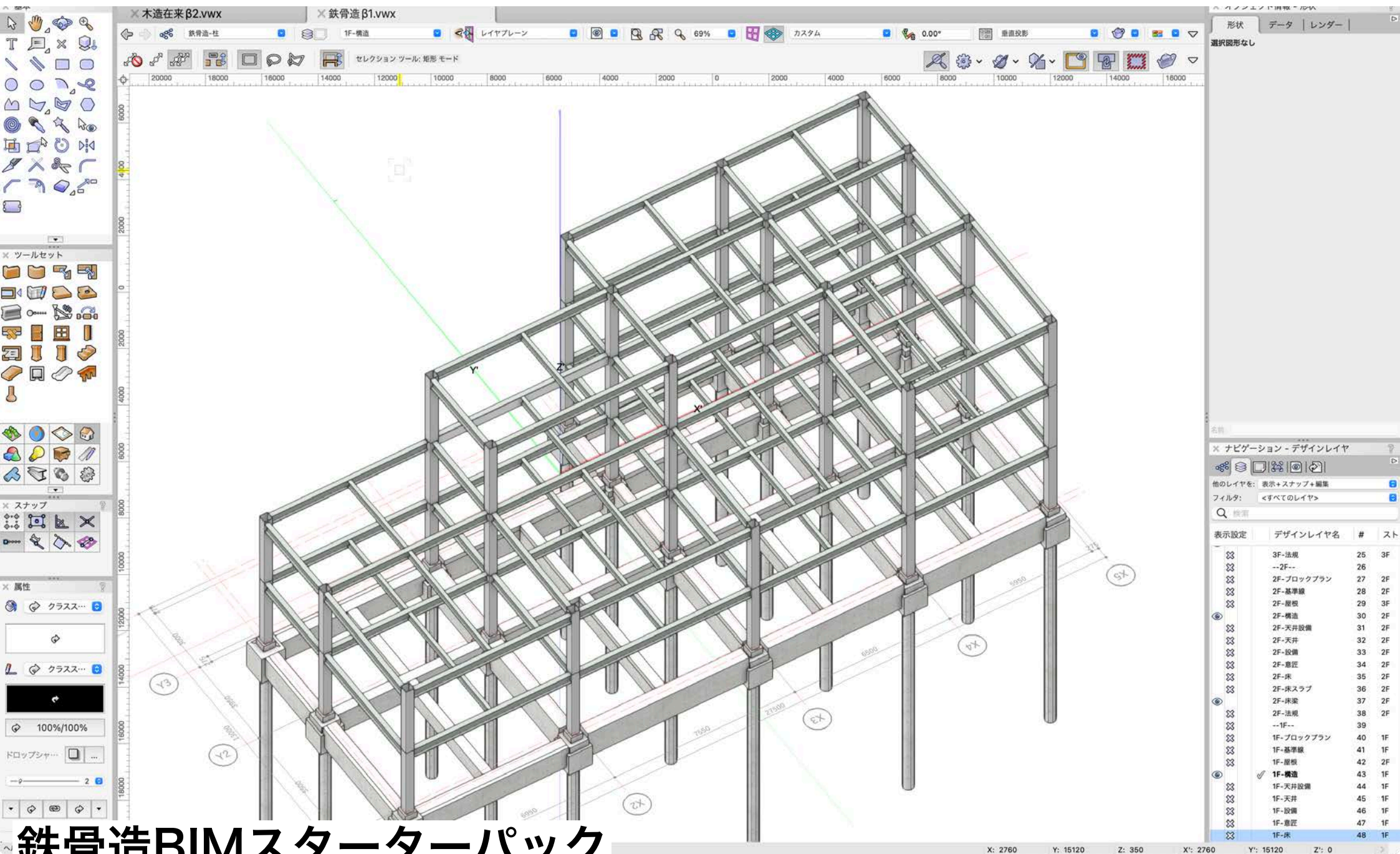


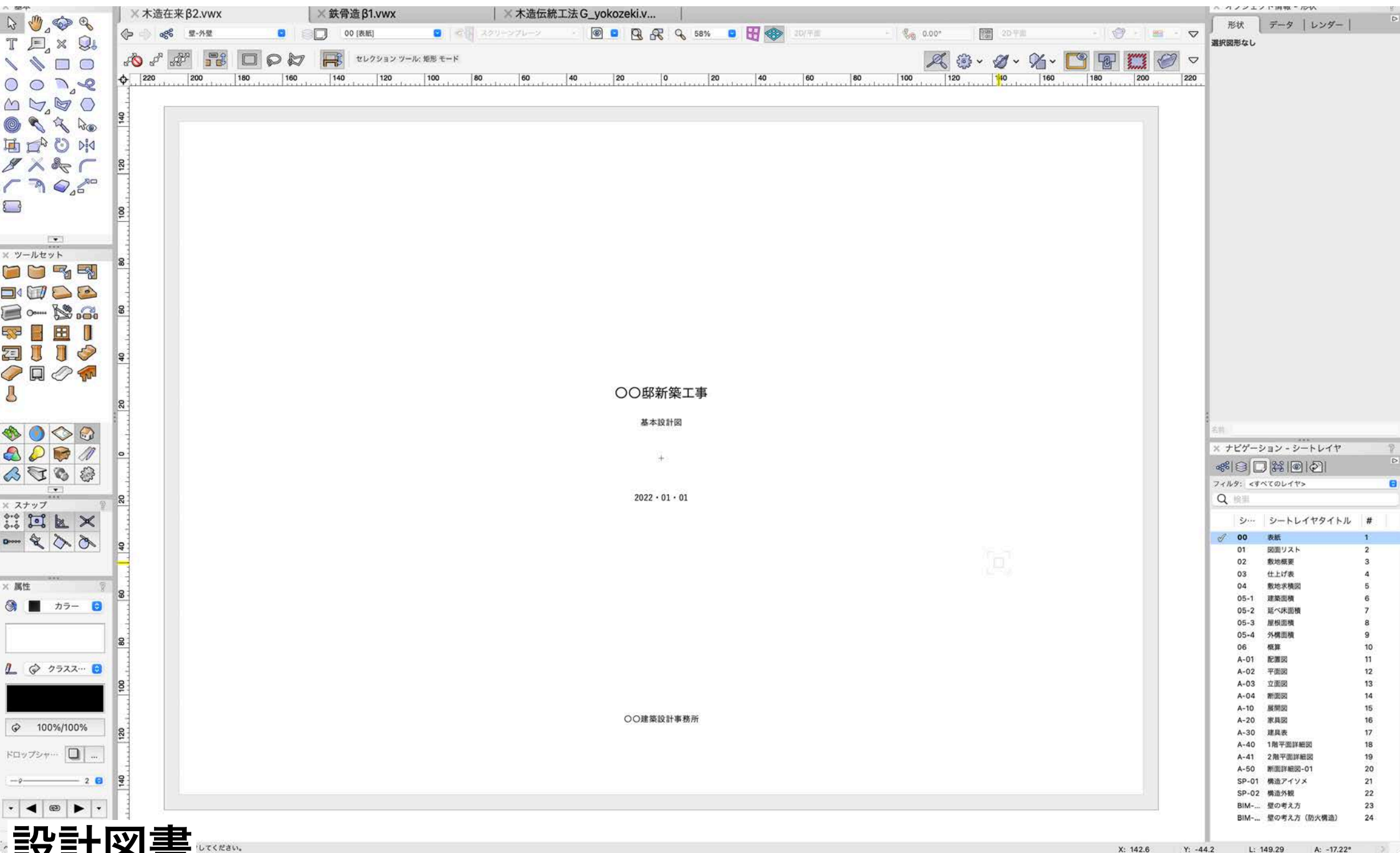






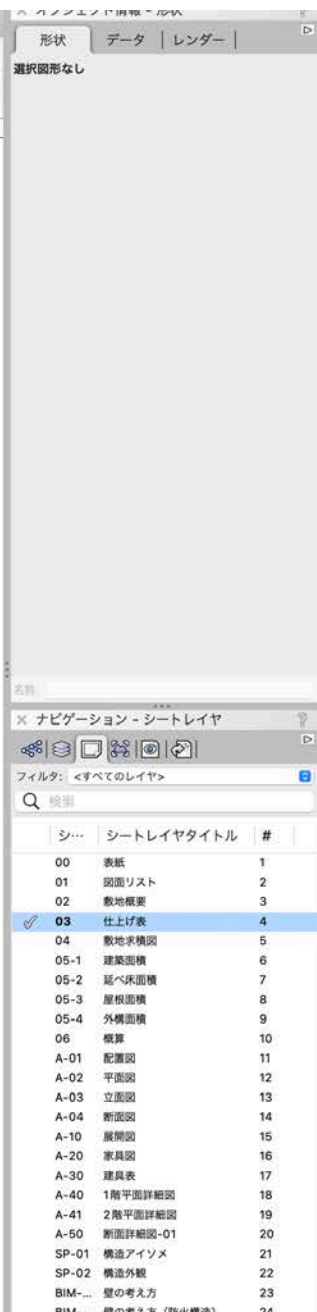


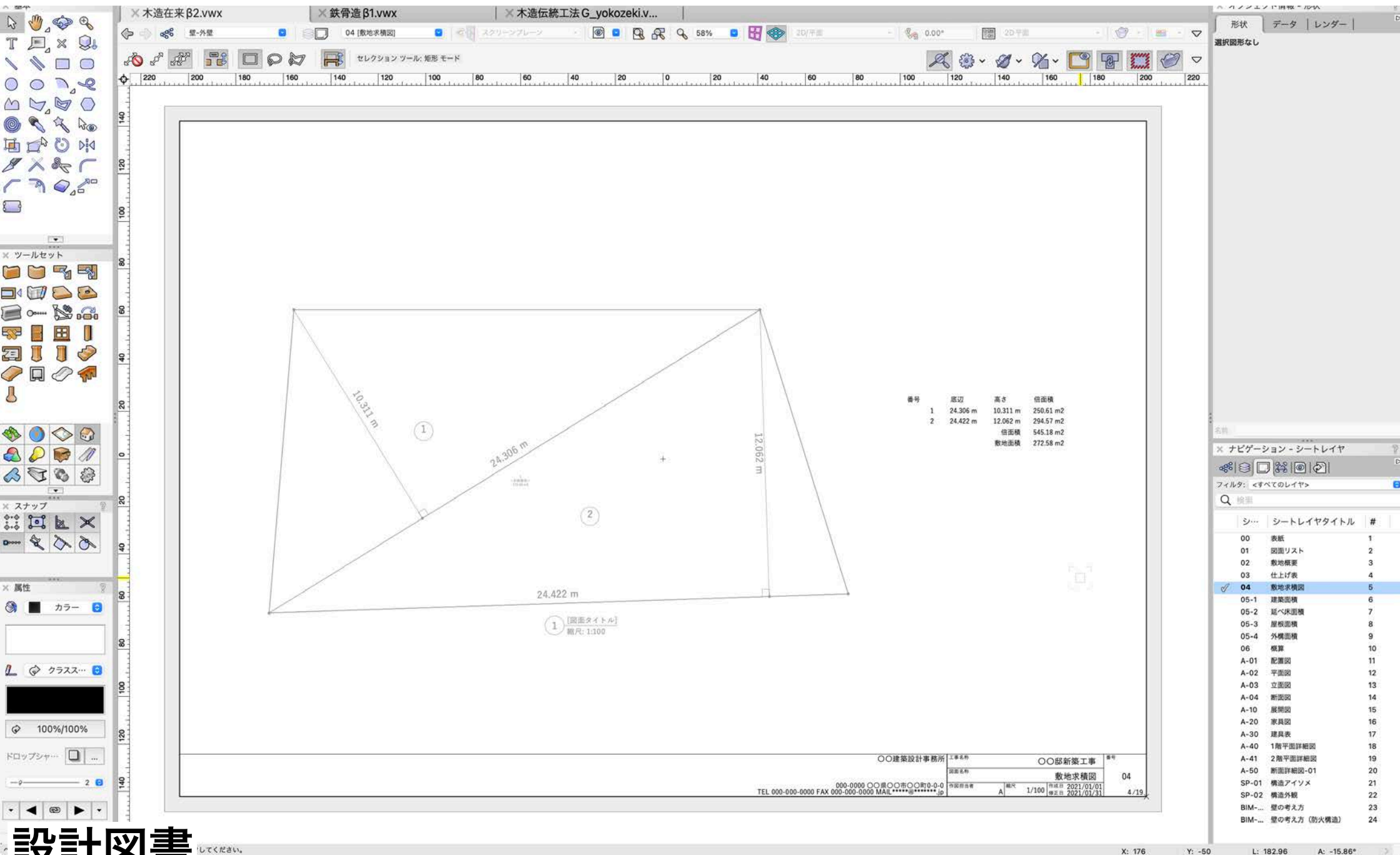




設計図書

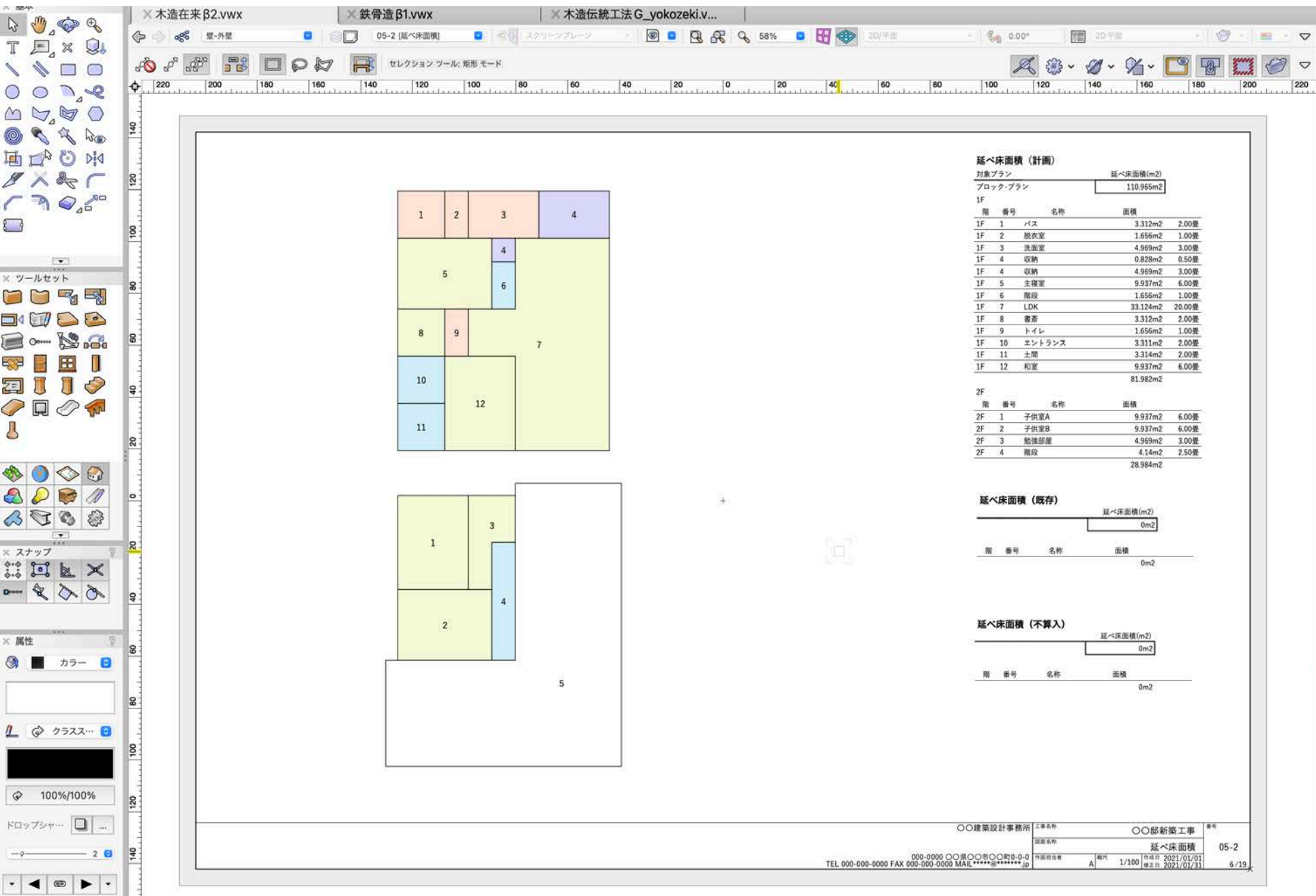






設計図書





形状 データ レンダー | 選択図形なし

名前

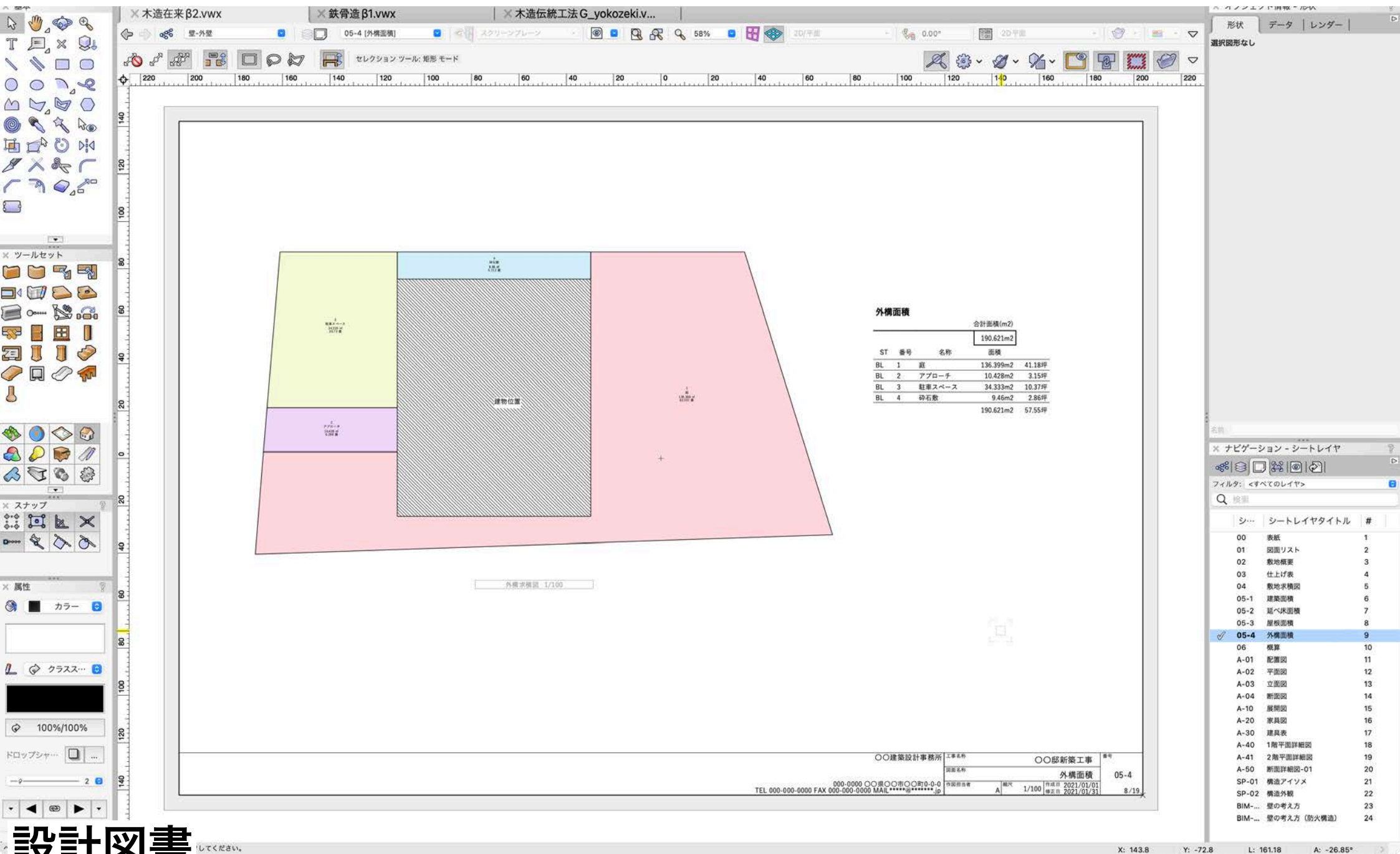
ナビゲーション - シートレイヤ

フィルタ: <すべてのレイヤ>

検索

シ...	シートレイヤタイトル	#
00	表紙	1
01	図面リスト	2
02	敷地概要	3
03	仕上げ表	4
04	敷地求積図	5
05-1	建築面積	6
05-2	延べ床面積	7
05-3	屋根面積	8
05-4	外構面積	9
06	概算	10
A-01	配置図	11
A-02	平面図	12
A-03	立面図	13
A-04	断面図	14
A-10	展開図	15
A-20	家具図	16
A-30	建具表	17
A-40	1階平面詳細図	18
A-41	2階平面詳細図	19
A-50	断面詳細図-01	20
SP-01	構造アイソメ	21
SP-02	構造外観	22
BIM-...	壁の考え方	23
BIM-...	壁の考え方 (防火構造)	24





木造在来β2.vwx

鉄骨造β1.vwx

木造伝統工法G_yokozeki.v...

壁-外壁

06 [概算]

スクリーンプレーン

58%

2D/平面

0.00°

2D/平面

220 200 180 160 140 120 100 80 60 40 20 0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220

140 120 100 80 60 40 20 0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220

セクション ツール: 矩形 モード

形状

データ

レンダー

選択図形なし

(A) 本体工事 概算見積 (施工床)

施工床面積(m2)

104.341m2

31.50坪

概算(税別)

2,439万円

階	番号	室名	面積	坪単価	OP	小計
1F	1	バス	3.312m2	80万円	0万円	80万円
1F	2	脱衣室	1.656m2	80万円	0万円	40万円
1F	3	洗面室	4.969m2	80万円	0万円	120万円
1F	4	収納	0.828m2	50万円	0万円	13万円
1F	4	収納	4.969m2	50万円	0万円	75万円
1F	5	主寝室	9.937m2	80万円	0万円	241万円
1F	6	階段	1.656m2	80万円	0万円	40万円
1F	7	LDK	33.124m2	80万円	0万円	803万円
1F	8	書斎	3.312m2	80万円	0万円	80万円
1F	9	トイレ	1.656m2	80万円	0万円	40万円
1F	12	和室	9.937m2	80万円	0万円	241万円
			75.357m2			1,774万円

2F

階	番号	室名	面積	坪単価	OP	小計
2F	1	子供室A	9.937m2	80万円	0万円	241万円
2F	2	子供室B	9.937m2	80万円	0万円	241万円
2F	3	勉強部屋	4.969m2	80万円	0万円	120万円
2F	4	階段	4.14m2	50万円	0万円	63万円
			28.984m2			665万円

(B) 外構工事 概算見積

施工面積(m2)

190.621m2

57.55坪

概算(税別)

262万円

番号	種別	面積	坪単価	OP	小計
BL 1	庭	136.399m2	5万円	0万円	207万円
BL 2	アプローチ	10.428m2	5万円	0万円	16万円
BL 3	駐車スペース	34.333m2	3万円	0万円	31万円
BL 4	砕石敷	9.46m2	3万円	0万円	9万円
		190.621m2			262万円

(C) その他工事 概算見積

概算(税別)

200万円

名称	小計
地盤改良工事	80万円
植栽工事	50万円
樹工事	70万円
	200万円

大概算見積

合計(税別)

3,063万円

税率

10.00%

税

306万円

合計(税込)

3,369万円

施工床+屋根+軒裏

26万円

289万円

20万円

220万円

353万円

3,878万円

(A) 概算建築工事費

262万円

(B) 外構工事

200万円

(C) その他工事

3,525万円

合計概算建築工事費 (D)

3,500万円

建築工事予算 (E)

-378万円 -は不足分

(A) 屋根工事 概算見積

施工面積(m2)

205.797m2

62.13坪

概算(税別)

624万円

階	番号	名称	面積	坪単価	OP	小計
RL			37.685m2	10万円	0万円	114万円
2F			65.213m2	10万円	0万円	198万円
			102.898m2			312万円

(A) 軒裏工事 概算見積

施工面積(m2)

0m2

0.00坪

概算(税別)

0万円

階	番号	名称	面積	坪単価	OP	小計
			0m2			0万円

〇〇建築設計事務所

工事名称

〇〇邸新築工事

06

000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇

TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000 MAIL *****.jp

図面名称

概算

9/19

作成担当者

A

作成日

2021/01/01

修正日

2021/01/31

設計図書

してください。

Flowworks LLC. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 20220117

木造在来β2.vwx | 鉄骨造β1.vwx | 木造伝統工法G_yokozeki.v...

壁-外壁 | A-01 配置図 | スクリーンプレーン | 58% | 2D/平面 | 0.00° | 2D平面

セクションツール: 矩形モード

高専法42号1階5号道路 幅員4m

配置図 1:100

データの可視化・ブロック (配置図用屋根)

屋根・庇

100%/100%

ドロップシャ...

〇〇建築設計事務所 工事名称 〇〇部新築工事 番号
図面名称 配置図 A-01
作成担当者 A 縮尺 1/100 作成日 2021/01/01 修正日 2021/01/31 10/19
TEL 000-0000-0000 FAX 000-0000-0000 MAIL *****@*****.jp

形状 | データ | レンダー |
選択図形なし

名前
× ナビゲーション - シートレイヤ
フィルタ: <すべてのレイヤ>
検索

シ...	シートレイヤタイトル	#
00	表紙	1
01	図面リスト	2
02	敷地概要	3
03	仕上げ表	4
04	敷地求積図	5
05-1	建築面積	6
05-2	延べ床面積	7
05-3	屋根面積	8
05-4	外構面積	9
06	概算	10
✓ A-01	配置図	11
A-02	平面図	12
A-03	立面図	13
A-04	断面図	14
A-10	展開図	15
A-20	家具図	16
A-30	建具表	17
A-40	1階平面詳細図	18
A-41	2階平面詳細図	19
A-50	断面詳細図-01	20
SP-01	構造アイソメ	21
SP-02	構造外観	22
BIM-...	壁の考え方	23
BIM-...	壁の考え方 (防火構造)	24

X: 143.1 Y: -57.6 L: 154.26 A: -21.93°

設計図書

してください。

木造在来β2.vwx | 鉄骨造β1.vwx | 木造伝統工法G_yokozeki.v...

壁-外壁 | A-02 [平面図] | スクリーンプレーン | 58% | 2D/平面 | 0.00° | 2D平面

セクションツール: 矩形モード

Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11

平面図 1F 1:100

平面図 2F 1:100

〇〇建築設計事務所 | 工事名称 | 〇〇邸新築工事 | 番号 |
図面名称 | 平面図 | A-02
TEL 000-0000-0000 FAX 000-0000-0000 MAIL *****.jp | 作成担当者 | C | 縮尺 | 1/100 | 作成日 | 2021/01/01 | 修正日 | 2021/01/31 | 11/19

形状 | データ | レンダー |
選択図形なし

名前 |
× ナビゲーション - シートレイヤ |
フィルタ: <すべてのレイヤ> | 検索 |

シ...	シートレイヤタイトル	#
00	表紙	1
01	図面リスト	2
02	敷地概要	3
03	仕上げ表	4
04	敷地求積図	5
05-1	建築面積	6
05-2	延べ床面積	7
05-3	屋根面積	8
05-4	外構面積	9
06	概算	10
A-01	配置図	11
A-02	平面図	12
A-03	立面図	13
A-04	断面図	14
A-10	展開図	15
A-20	家具図	16
A-30	建具表	17
A-40	1階平面詳細図	18
A-41	2階平面詳細図	19
A-50	断面詳細図-01	20
SP-01	構造アイソメ	21
SP-02	構造外観	22
BIM-...	壁の考え方	23
BIM-...	壁の考え方 (防火構造)	24

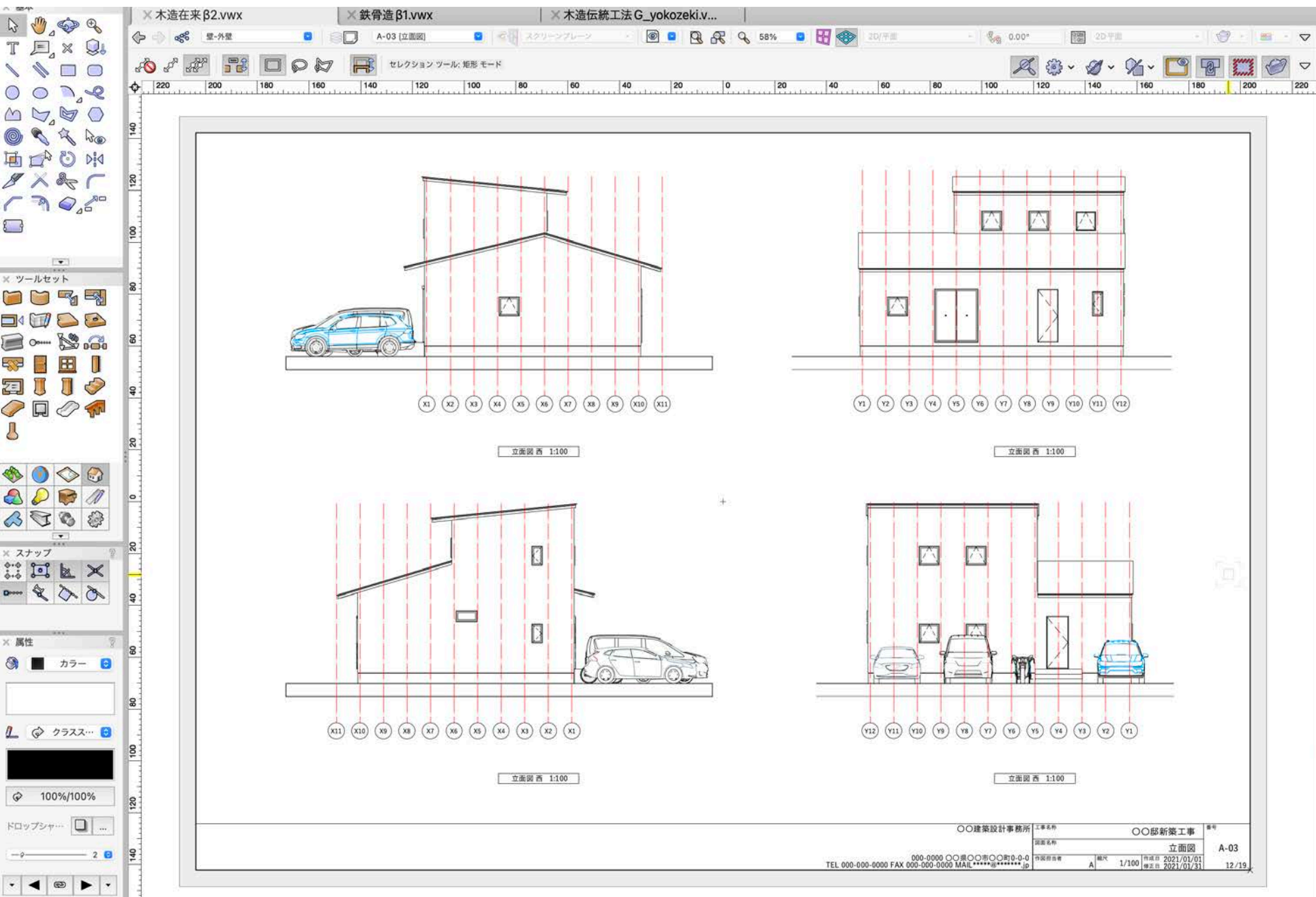
100%/100%

ドロップシャ...

設計図書

X: 160.2 Y: -107.6 L: 192.98 A: -33.89°

Flowworks LLC. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 20220117



形状 | データ | レンダー |

選択図形なし

名前

× ナビゲーション - シートレイヤ

フィルタ: <すべてのレイヤ>

検索

シ...	シートレイヤタイトル	#
00	表紙	1
01	図面リスト	2
02	敷地概要	3
03	仕上げ表	4
04	敷地求積図	5
05-1	建築面積	6
05-2	延べ床面積	7
05-3	屋根面積	8
05-4	外構面積	9
06	概算	10
A-01	配置図	11
A-02	平面図	12
✓ A-03	立面図	13
A-04	断面図	14
A-10	展開図	15
A-20	家具図	16
A-30	建具表	17
A-40	1階平面詳細図	18
A-41	2階平面詳細図	19
A-50	断面詳細図-01	20
SP-01	構造アイソメ	21
SP-02	構造外観	22
BIM-...	壁の考え方	23
BIM-...	壁の考え方 (防火構造)	24

X: 195.4 Y: -28.2 L: 197.42 A: -8.21°

設計図書

してください。

木造在来β2.vwx | 鉄骨造β1.vwx | 木造伝統工法G_yokozeki.v...

壁-外壁 | A-04 [断面図] | スクリーンプレーン | 58% | 2D/平面 | 0.00° | 2D/平面

セクションツール: 矩形モード

220 200 180 160 140 120 100 80 60 40 20 0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220

140 120 100 80 60 40 20 0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220

× ツールセット

× スナップ

× 属性

カラー

クラス...

ドロップシャ...

100%/100%

2

形状 | データ | レンダー |

選択図形なし

名前

× ナビゲーション - シートレイヤ

フィルタ: <すべてのレイヤ>

検索

シ...	シートレイヤタイトル	#
00	表紙	1
01	図面リスト	2
02	敷地概要	3
03	仕上げ表	4
04	敷地求積図	5
05-1	建築面積	6
05-2	延べ床面積	7
05-3	屋根面積	8
05-4	外構面積	9
06	概算	10
A-01	配置図	11
A-02	平面図	12
A-03	立面図	13
✓ A-04	断面図	14
A-10	展開図	15
A-20	家具図	16
A-30	建具表	17
A-40	1階平面詳細図	18
A-41	2階平面詳細図	19
A-50	断面詳細図-01	20
SP-01	構造アイソメ	21
SP-02	構造外観	22
BIM-...	壁の考え方	23
BIM-...	壁の考え方 (防火構造)	24

立面図 西 1:100

立面図 西 1:100

〇〇建築設計事務所 | 工事名称 | 〇〇邸新築工事 | 番号 |

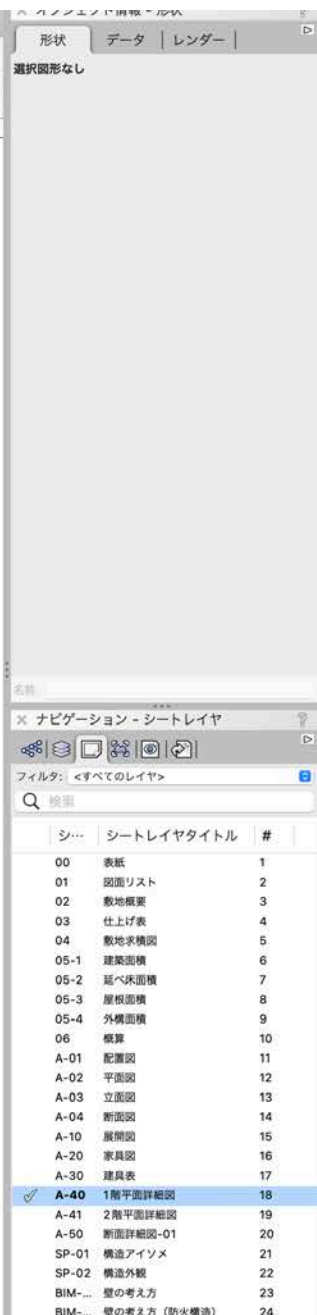
図面名称 | 断面図 | A-04

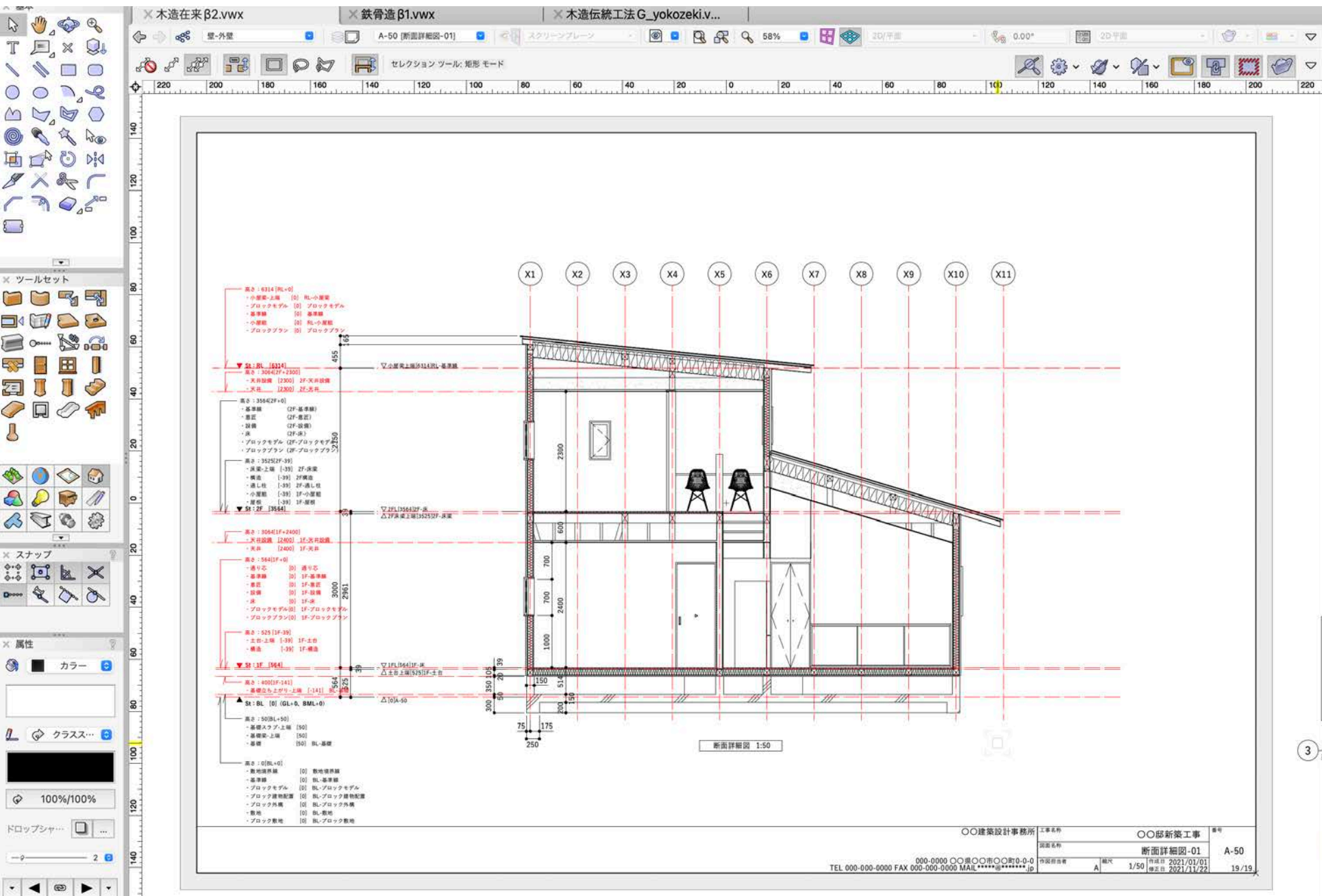
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000 MAIL *****@*****.jp | 図面番号 | A | 縮尺 | 1/100 | 作成日 | 2021/01/01 | 修正日 | 2021/01/31 | 13/19

設計図書

してください。

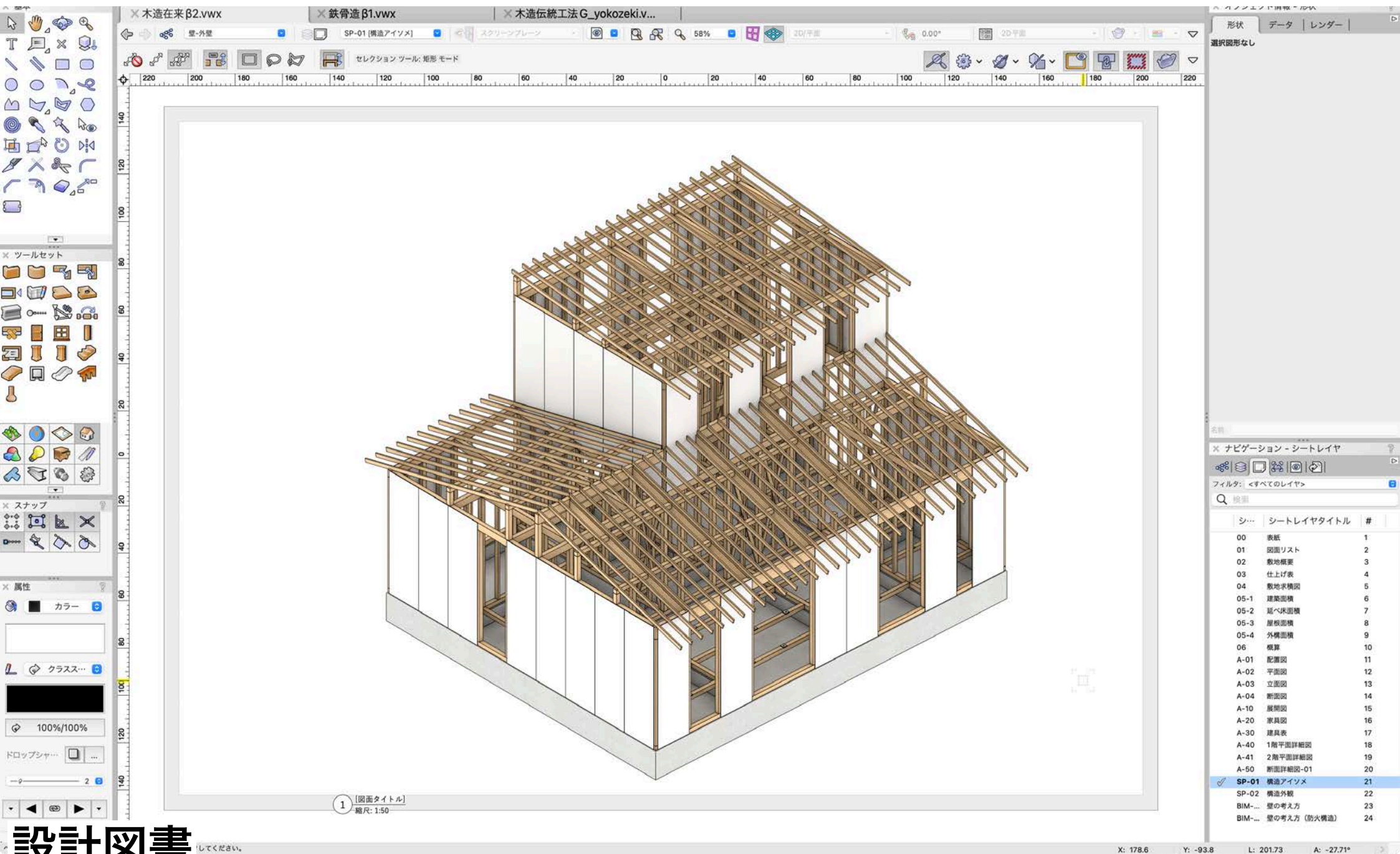
X: 99 | Y: -92.6 | L: 135.56 | A: -43.09°





設計図書

してください。



設計図書

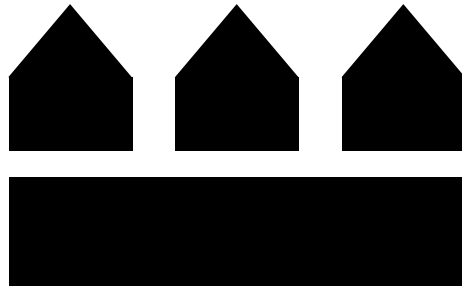


目指すべきこと

前提として

**中小規模設計者向けであること。
特に一人や数名の事務所のBIM普及に貢献したいと
考えている。**

基本的な考え方



全ての基礎となる標準を作る

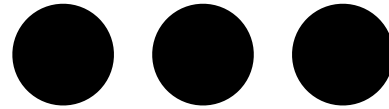
作業に違いはそれほど多くない

当たり前のことを当たり前に行えるようにする
設計実務に実際使える強度をもつものであること

応用まで見据えた基礎

ワークフロー
テンプレート
リソース

高負荷な作業、技術は広く一般には普及しない

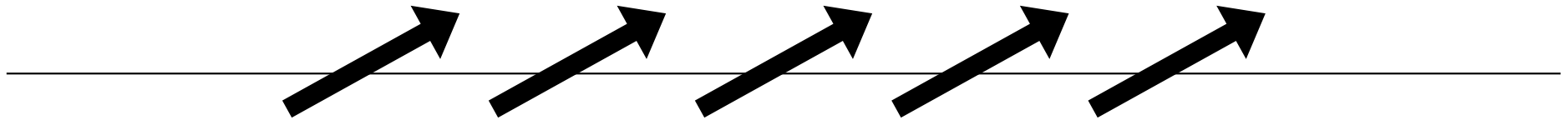


作業の簡素化 (複雑さを見せない工夫)

本質を見失わない
迷わない

設計者は設計に集中
単純だからこそ自由になれる

流行や技術は10年で刷新される

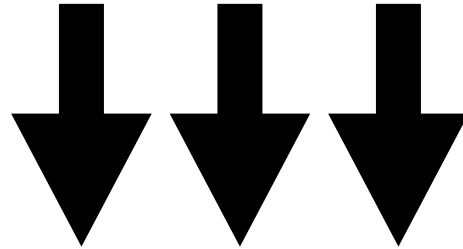


持続的な更新

柔軟に時代に合わせる必要性
持続のための新たな基盤

単純だからこそ自由になれる

習得負荷で仕事が滞るのは本末転倒



習得/準備負荷の低減

いつでもどこでも学ぶことができる

みんなが同じ苦しみを追う必要はない

共有できるものは共有する

現在出来ていること

BIMテンプレート 95% ~1月30日完了予定

BIMリソース 90% ~1月30日完了予定

BIMワークフロー 90% ~1月30日完了予定

オンデマンドムービー 20% ~2月15日完了予定

検証 40% ~2月20日完了予定

報告書 10% ~2月20日完了予定

BIM設計の骨格



標準BIMテンプレート

95%
最終修正作業中

3つのスターターパックで共通できる部分をプラットフォーム化
プログラム開発同じく残り5%がなかなか終わらない。

共通すること必要最低限なことは全てを見ないとわからない。
CAD特有の機能を活かし切るとは他のCADや一般的な標準との乖離を引き起こす
便利さとの引き換えに起きる複雑な設定のブラックボックス化
設計の自由度こそ守られること

BIM標準テンプレート

行った作業

BIM標準環境設定

クラス/レイヤ/線/面/寸法/文字/テクスチャ/登録画面/作業画面etc

BIMオブジェクト高さ管理

ストーリー/レベルタイプ/レイヤ高さ設定/オブジェクトの高さ拘束etc

BIM情報管理利用方法

レコードフォーマット/ワークシート/データタグ/データの可視化/マテリアル/フィルタリングetc

BIMオブジェクトツール設定

敷地造成/空間ブロック/壁/建具/床天井/屋根/階段/手すり/構造ツールetc

BIMCADファイル管理

プロジェクト共有/ワークグループライブラリ/クラウドの活用etc

システム設計や情報処理の世界に近い

BIM標準テンプレート

ツール設定

敷地造成/空間ブロック/壁/建具/床天井
屋根/階段/手すり/構造ツールetc

情報管理設定

レコードフォーマット/ワークシート/データタグ
データの可視化/マテリアル/フィルタリングetc

高さ設定

ストーリー/レベルタイプ
レイヤ高さ設定
オブジェクトの高さ拘束
etc

環境設定

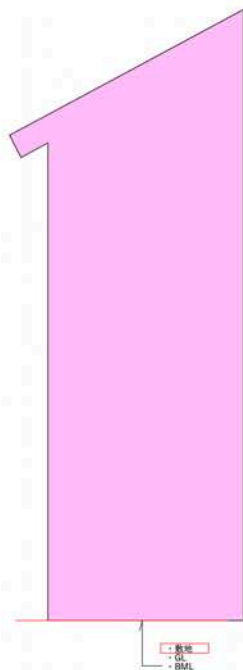
クラス/レイヤ/線/面/寸法/文字/テクスチャ/登録画面/作業画面etc

**BIMにより高度に複雑化したテンプレートは
個人レベルでは作成保守に限界がある**

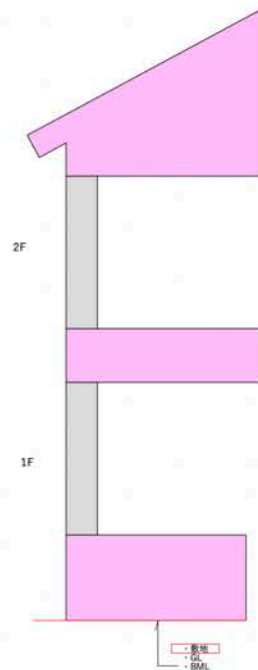
高さの管理

常に高さ情報がつきまとう
意識せずに扱えるようにすれば2Dな人たちにも優しいが、、、

L1
(ボリュームスタディ)
3Dラフモデリング

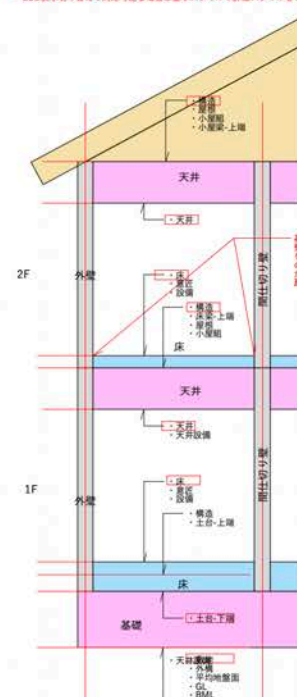


L2
(モデルスタディ)
3Dモデリング

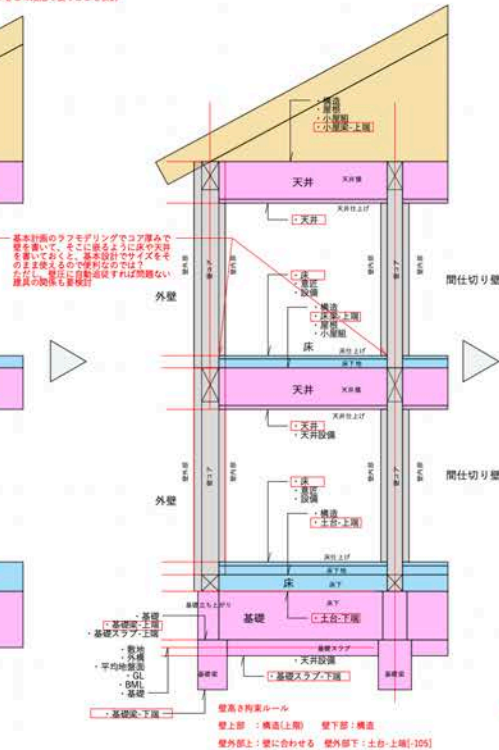


L3
(基本計画)
BIMラフモデリング

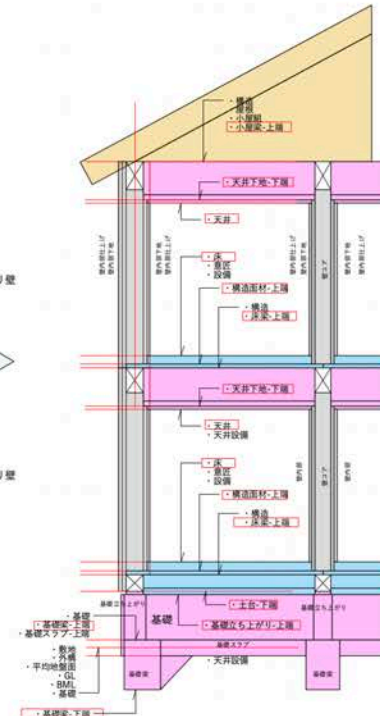
原則内用スタイルでモデリングを行う
→LOD表示切り替えて対応可能な場合は基本スタイルや詳細スタイルをこの段階で使うことも検討



L4
(基本設計)
BIM基本モデリング



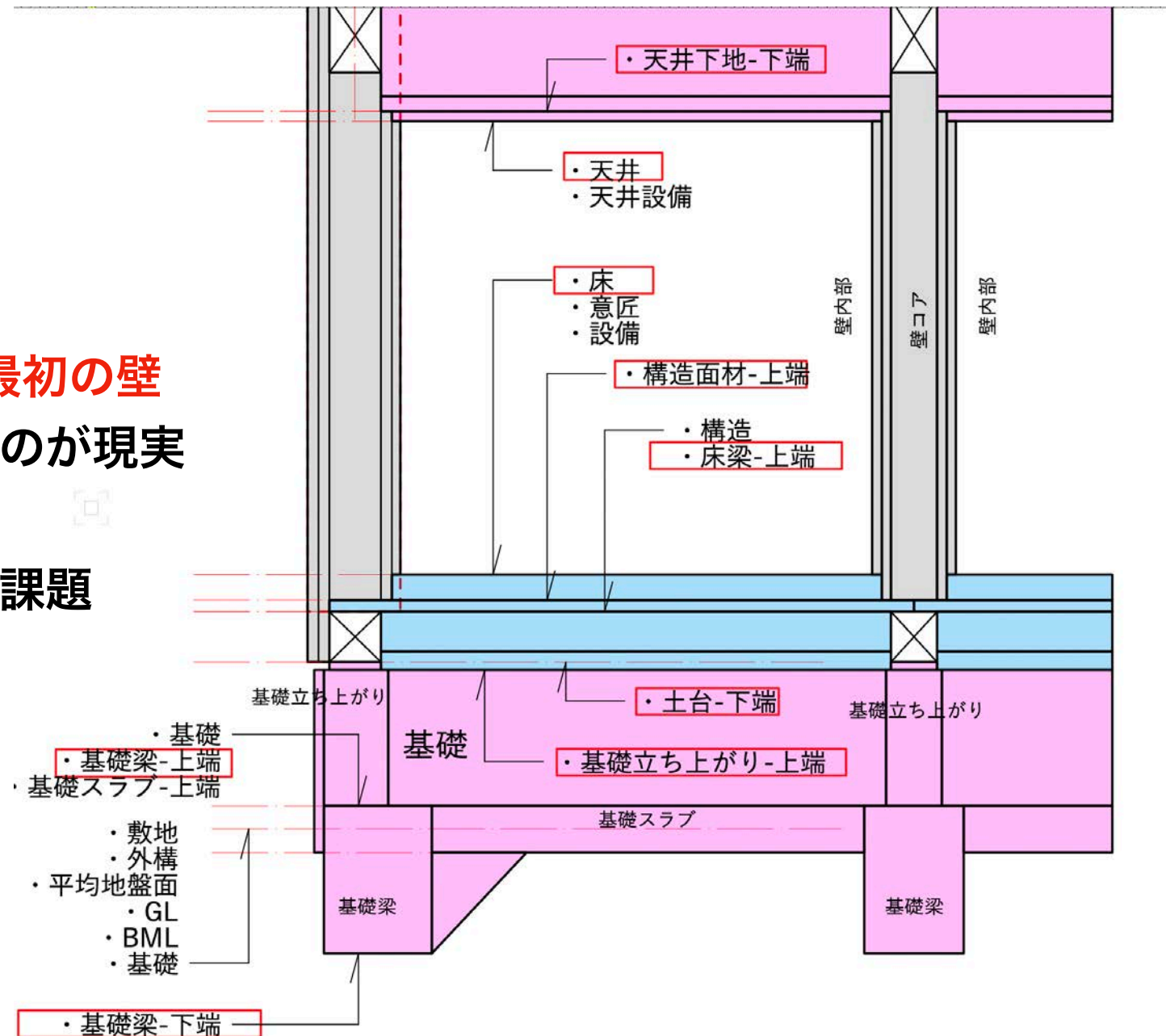
L5
(実施設計)
BIM詳細モデリング

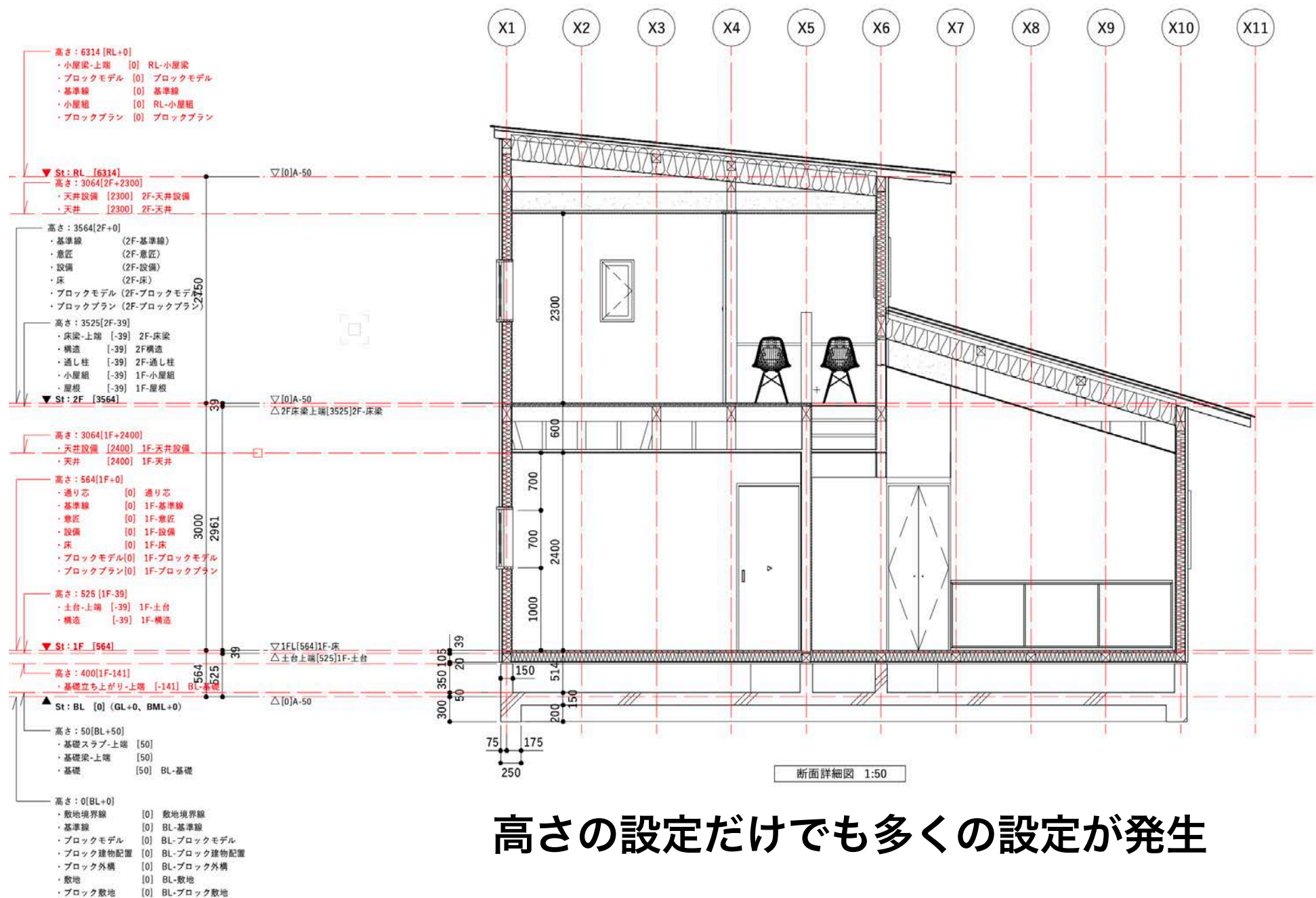


LODに合わせて高さ管理を体系化
ボリュームモデルから詳細モデルまで一貫した高さコントロール

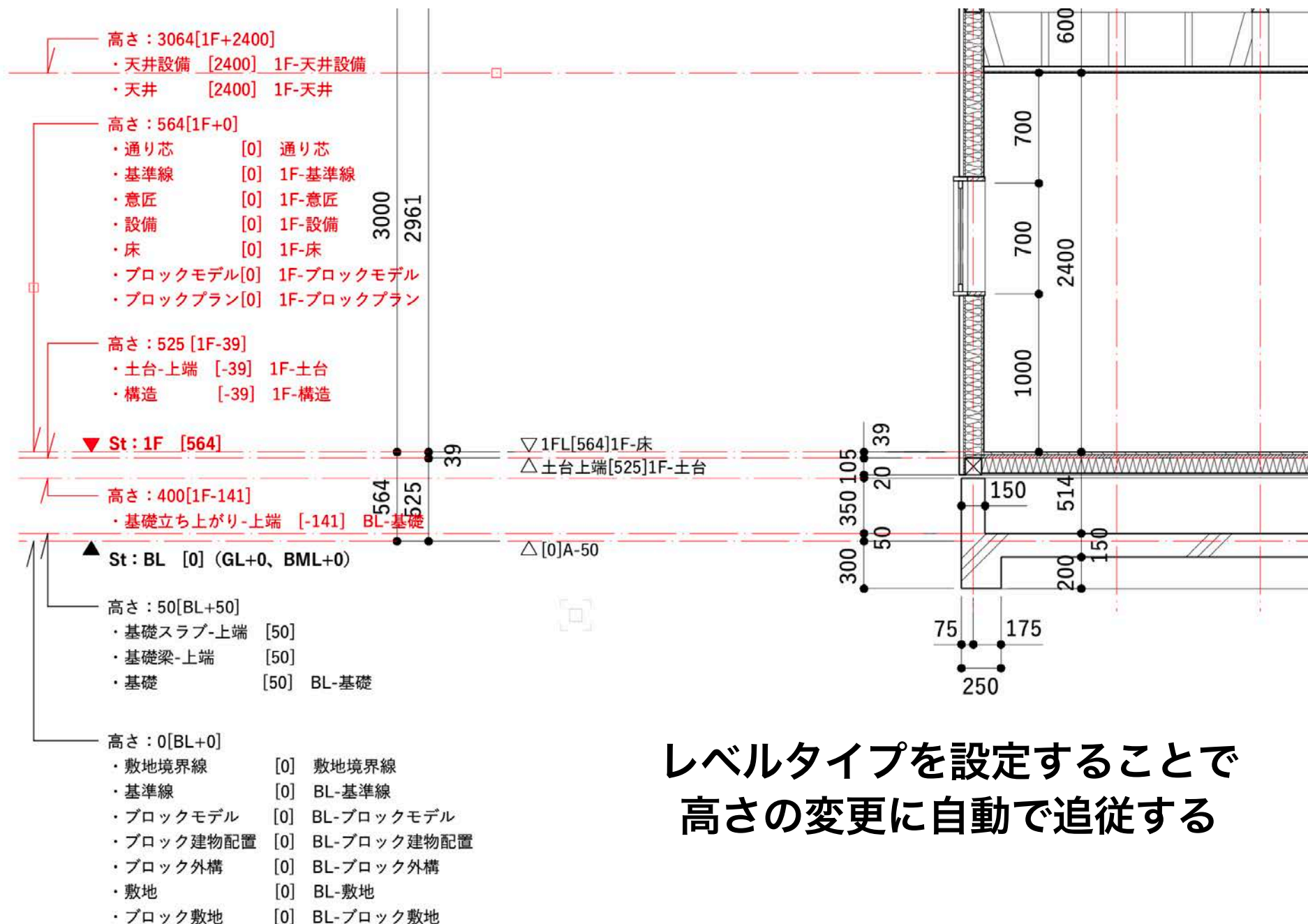
これらを理解することが**最初の壁**
事務所ごとに**設定が異なる**のが現実

体系化標準化の普及が課題





高さの設定だけでも多くの設定が発生



レベルタイプを設定することで
 高さの変更に自動で追従する

<課題>

これは構造種別や事務所で高さの押さえ方が異なるため
それらに柔軟に対応する**方法**を**確立**する**必要**がある
標準とは何かを規定することが難しい
体系化された標準設定を**どう普及**させるか

情報を使いこなすものがBIM設計を制す

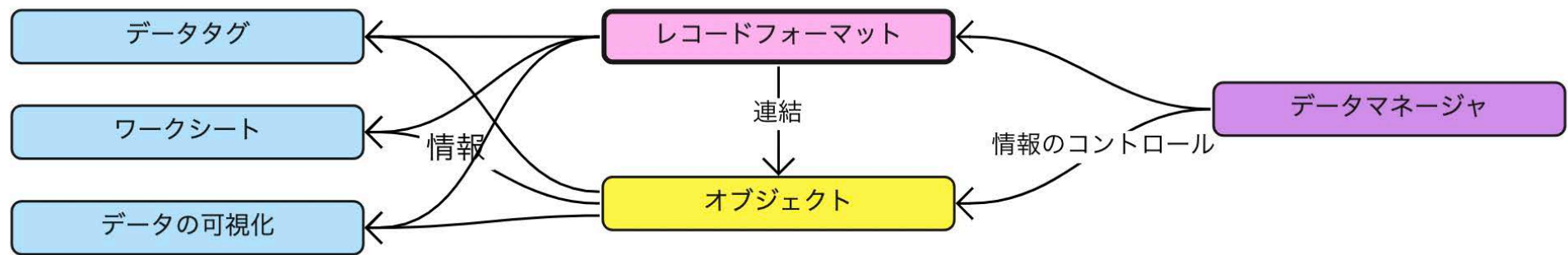
情報の設定と活用

ここが最もBIM設計らしいところだが、、、

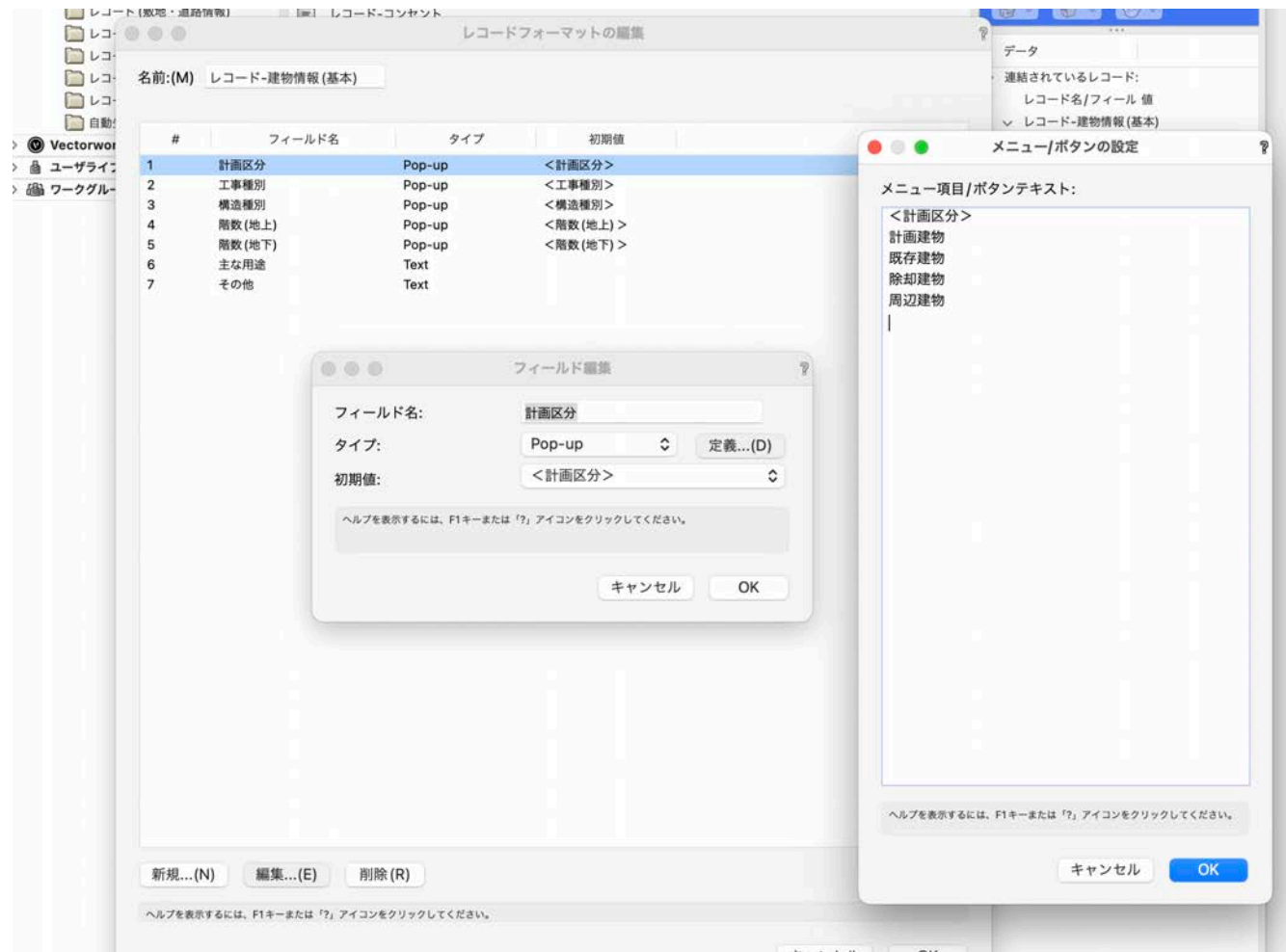
オブジェクト情報の活用

オブジェクトの情報化

オブジェクトの情報の
段階的コントロール



複雑な関係性
情報の付加は自由自在



スターターパックでも50近いレコード
増え続けるレコード

<課題>

初心者がこれらをカスタマイズするのは**至難の業**
情報系のエラーが発生したときに初心者では**対応が難しい**
支援環境が必須

利用例

木造在来β2.vwx

ブロック-用途地域 敷地-ブロックプラン レイアプレーン 25% 2D/平面 0.00° 2D平面

セクションツール: 矩形 モード

15000 10000 5000 0 5000 10000 15000 20000 25000 30000 35000

15000 10000 5000 0 5000 10000 15000

敷地のブロック図形に敷地情報をレコードで連結
ここでは二つの用途地域にかかる敷地を想定

ヘルプを表示するには、F1キーまたは「?」アイコンをクリックしてください。

X: 14350 Y: 7100 L: 16010.39 A: 26.32°

形状 データ レンダー

選択図形なし

ツールセット

スナップ

属性

ナビゲーション - シートレイヤ

フィルタ: <すべてのレイヤ>

検索

シ...	シートレイヤタイトル	#
00	表紙	1
01	図面リスト	2
02	敷地概要	3
03	仕上げ表	4
04	敷地求積図	5
05-1	建築面積	6
05-2	延べ床面積	7
05-3	屋根面積	8
05-4	外構面積	9
06	概算	10
A-01	配置図	11
A-02	平面図	12
A-03	立面図	13
A-04	断面図	14
A-10	展開図	15
A-20	家具図	16
A-30	建具表	17
A-40	1階平面詳細図	18
A-41	2階平面詳細図	19
A-50	断面詳細図-01	20
SP-01	構造アイソメ	21
SP-02	構造外観	22
BIM-...	壁の考え方	23
BIM-...	壁の考え方 (防火構造)	24

<敷地面積表>

	面積(m ²)	面積(坪)
計画敷地面積	272.60㎡	82.46坪
番号	面積(m ²)	面積(坪)
道路提供面積		
番号	面積(m ²)	面積(坪)
公園提供面積		
番号	面積(m ²)	面積(坪)

容積率や道路幅員など必要な情報を入力すると
敷地面積表や許容容積率などが
自動で計算される

<許容建蔽率・許容容積率の算定>

(A+B)		計画敷地面積	272.60㎡	82.46坪
許容建蔽率	83.02%	許容建築面積	226.31㎡	68.46坪
許容容積率	160.00%	許容延床面積	436.16㎡	131.94坪

(CとDで小さい方)

番号	面積	按分割合	許容建蔽率	按分建蔽率	許容容積率	按分容積率
	95.18㎡	0.349	60%	20.95%	200%	69.831%
	177.42㎡	0.651	80%	52.07%	200%	130.169%
合計	272.602㎡			(A)73.02%		(C)200%

割増数	角地	防火/耐火
建蔽率の割増 (B)10%		建蔽率+10%(準防火地域+準耐火建築物)

道路幅員	4
低減係数	0.4
前面道路幅員による容積率の計算	
0.4	× 4 =1.6
	(D)160%

木造在来 β2.vwx

ブロック-プラン 凡例-ブロック-プラン レイアプレーン 16% 2D/平面 0.00° 2D平面

セレクションツール: 矩形 モード

凡例ゾーン 作業ゾーン 数表ゾーン

数表は常に図面内に表示されるので
常に確認しながら設計を進められる

形状 データ レンダー
選択図形なし

ナビゲーション - シートレイヤ

フィルタ: <すべてのレイヤ>

シ...	シートレイヤタイトル	#
00	表紙	1
01	図面リスト	2
02	敷地概要	3
03	仕上げ表	4
04	敷地求積図	5
05-1	建築面積	6
05-2	延べ床面積	7
05-3	屋根面積	8
05-4	外構面積	9
06	概算	10
A-01	配置図	11
A-02	平面図	12
A-03	立面図	13
A-04	断面図	14
A-10	展開図	15
A-20	家具図	16
A-30	建具表	17
A-40	1階平面詳細図	18
A-41	2階平面詳細図	19
A-50	断面詳細図-01	20
SP-01	構造アイソメ	21
SP-02	構造外観	22
BIM-...	壁の考え方	23
BIM-...	壁の考え方 (防火構造)	24

X: 7360 Y: 360 L: 7368.8 A: 2.80°

ヘルプを表示するには、F1キーまたは「?」アイコンをクリックしてください。

テンプレートの今後の課題

継続的な改善

標準パック、拡張パック、教育パックなど**次の展開**

RC造への対応

各事務所に合わせた**カスタマイズ**への対応

組織的かつ持続的な活動が必要

BIM標準リソース



BIMリソース

90%

最終調整中

参考モデルに使われているものが全て網羅

BIM情報が設定済み

各種情報活用がしやすいように調整済み

BIM標準リソース

行った作業

標準BIMオブジェクトスタイル

壁/建具/床天井/屋根/階段/手すり/構造材各種スタイル

標準BIMハイブリットシンボル

衛生設備/電気設備/換気空調設備各種シンボル

標準BIM情報リソース

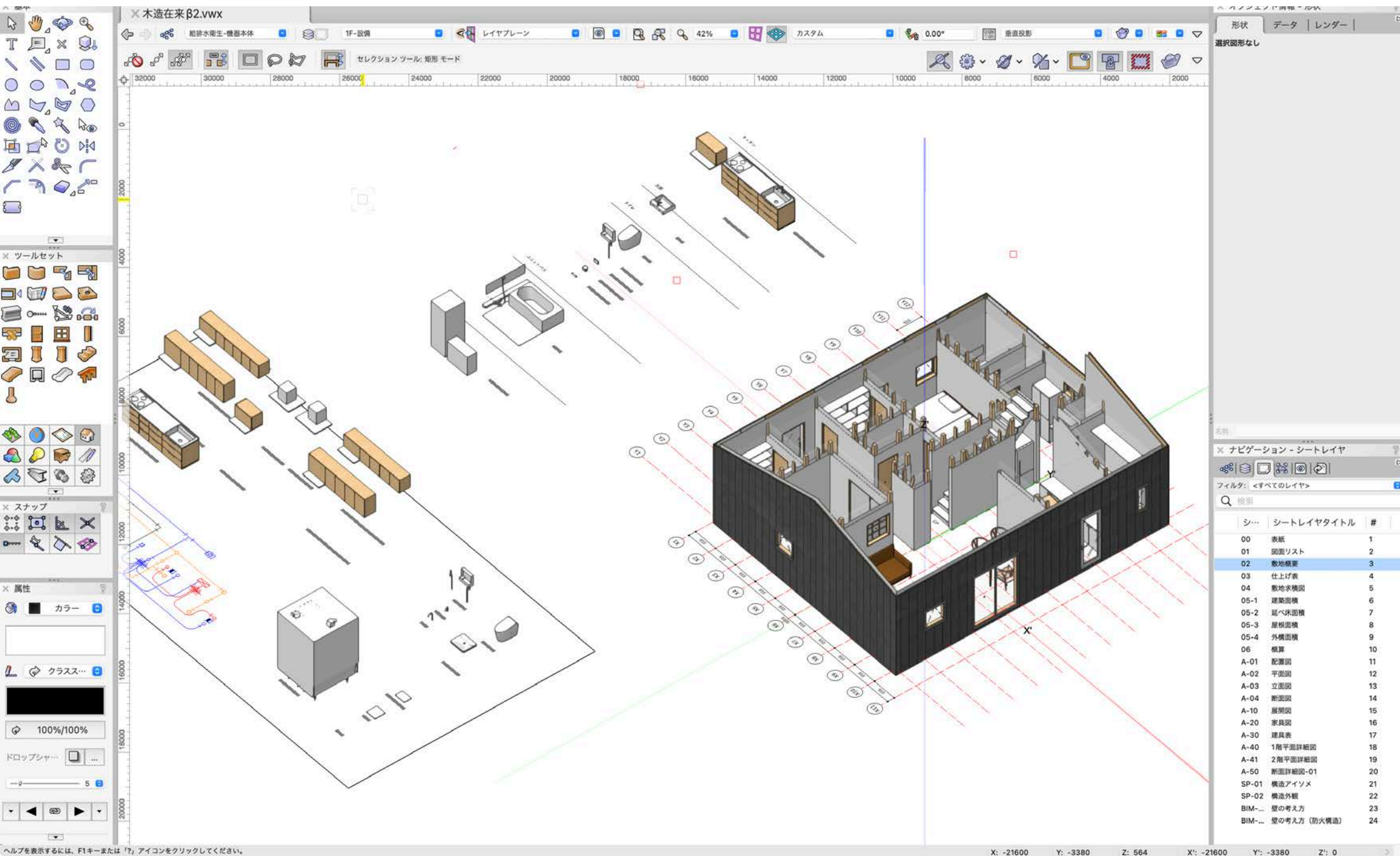
各種情報セット/自動面積表/自動仕上げ表/概算見積もり/拾い一覧
各種記号/各種BIM情報の可視化セット/資材情報/内容別情報検索etc

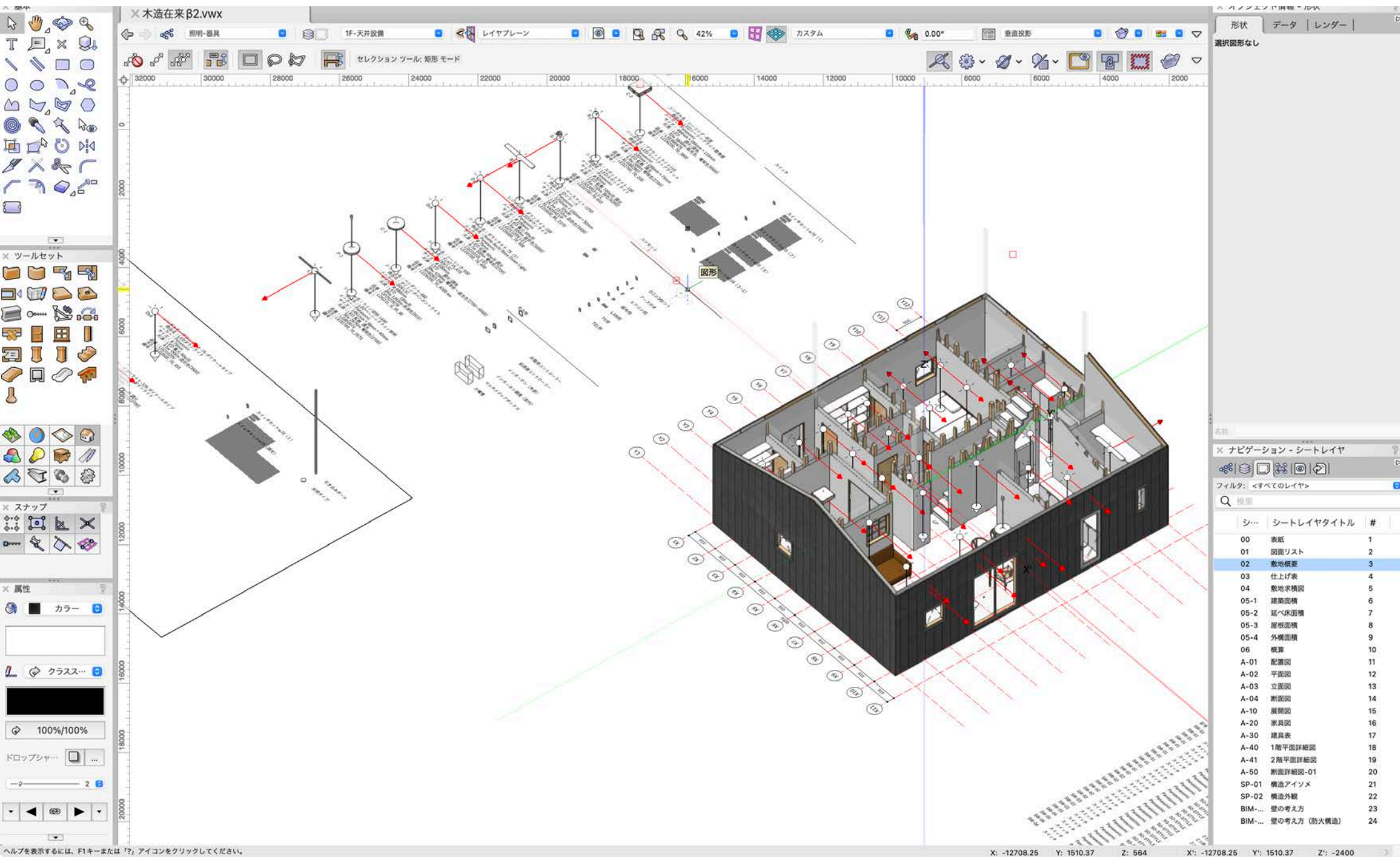
注意したこと

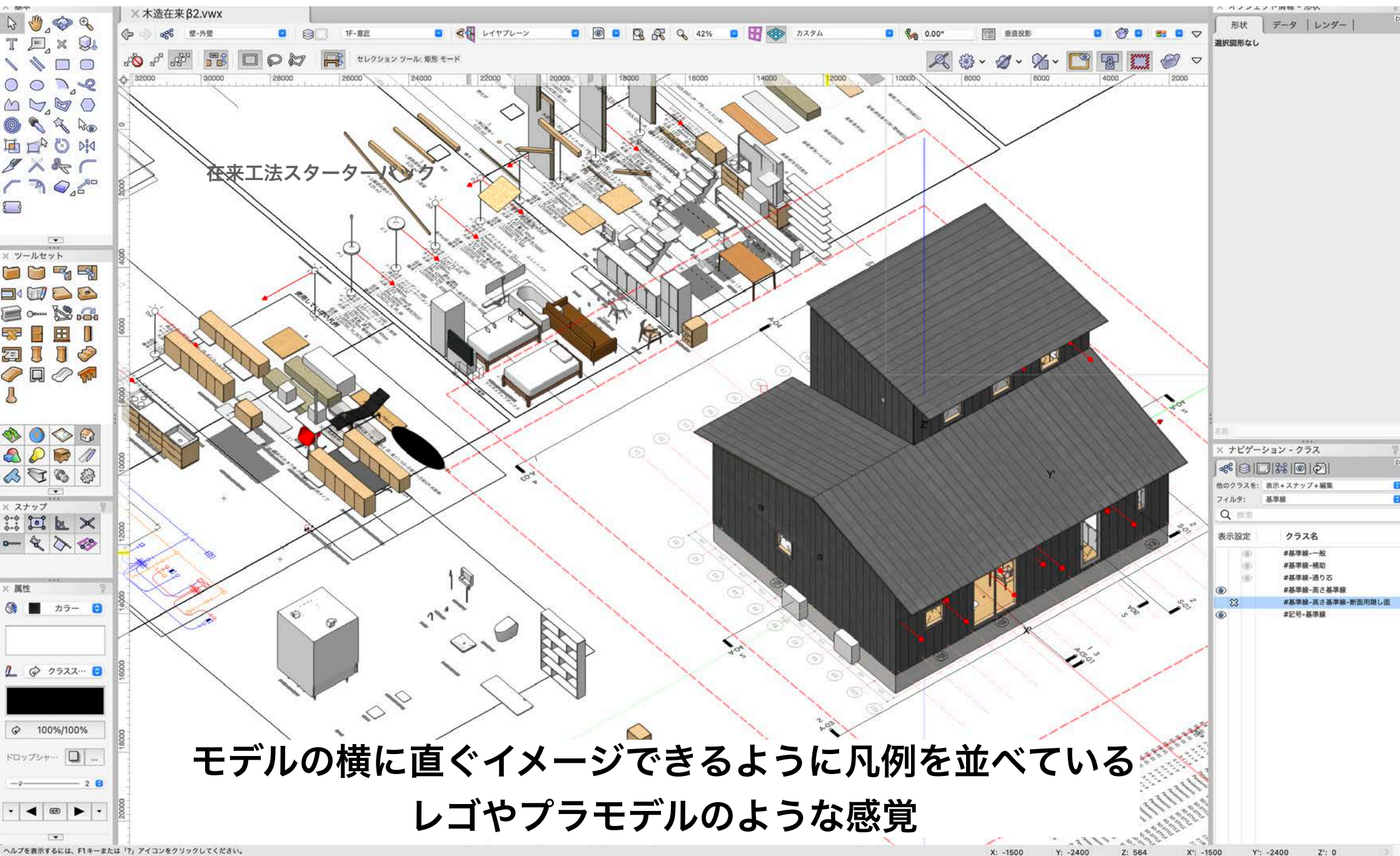
全てのリソースが標準仕様で作成されていること

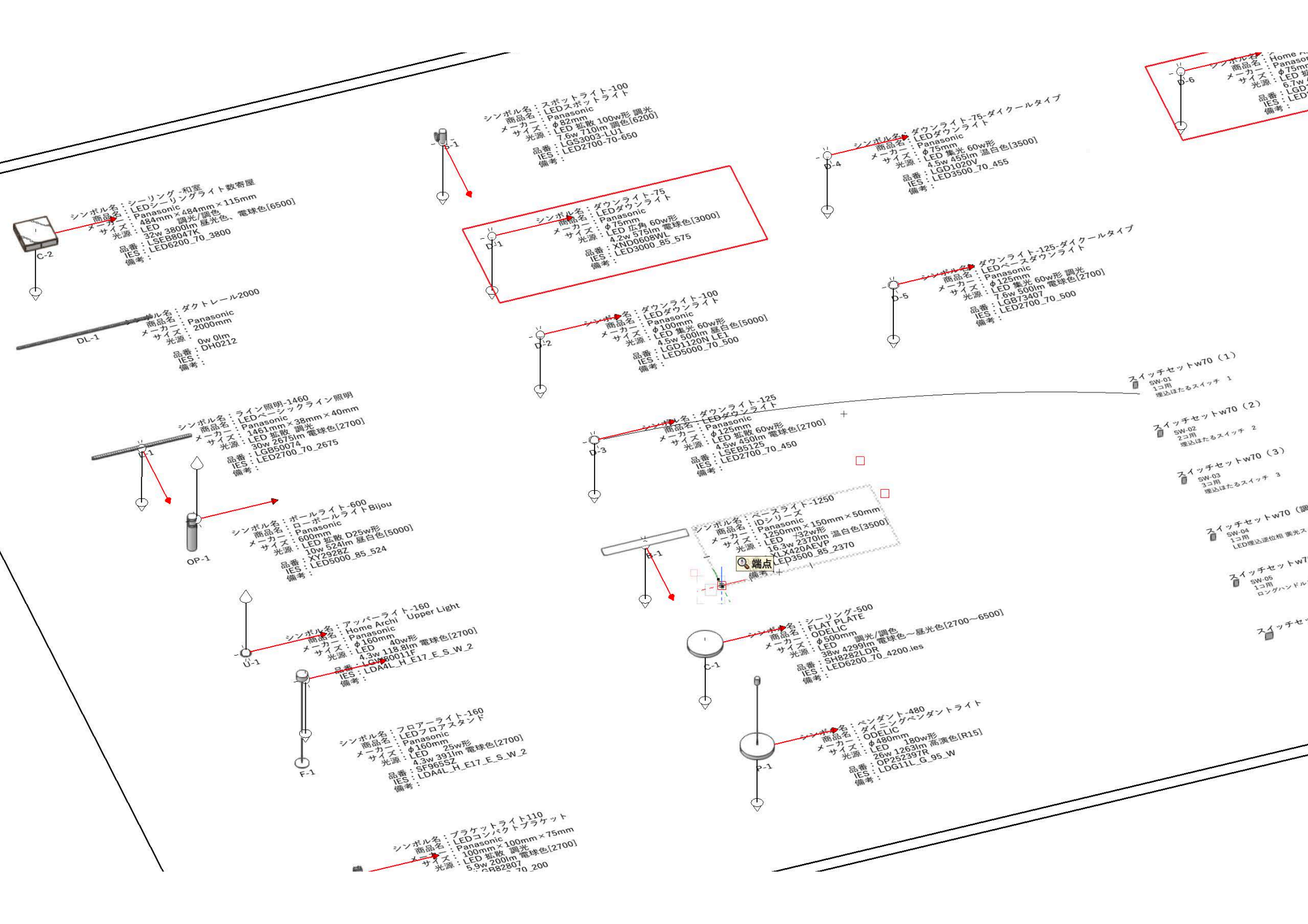
建築情報が付加されていること

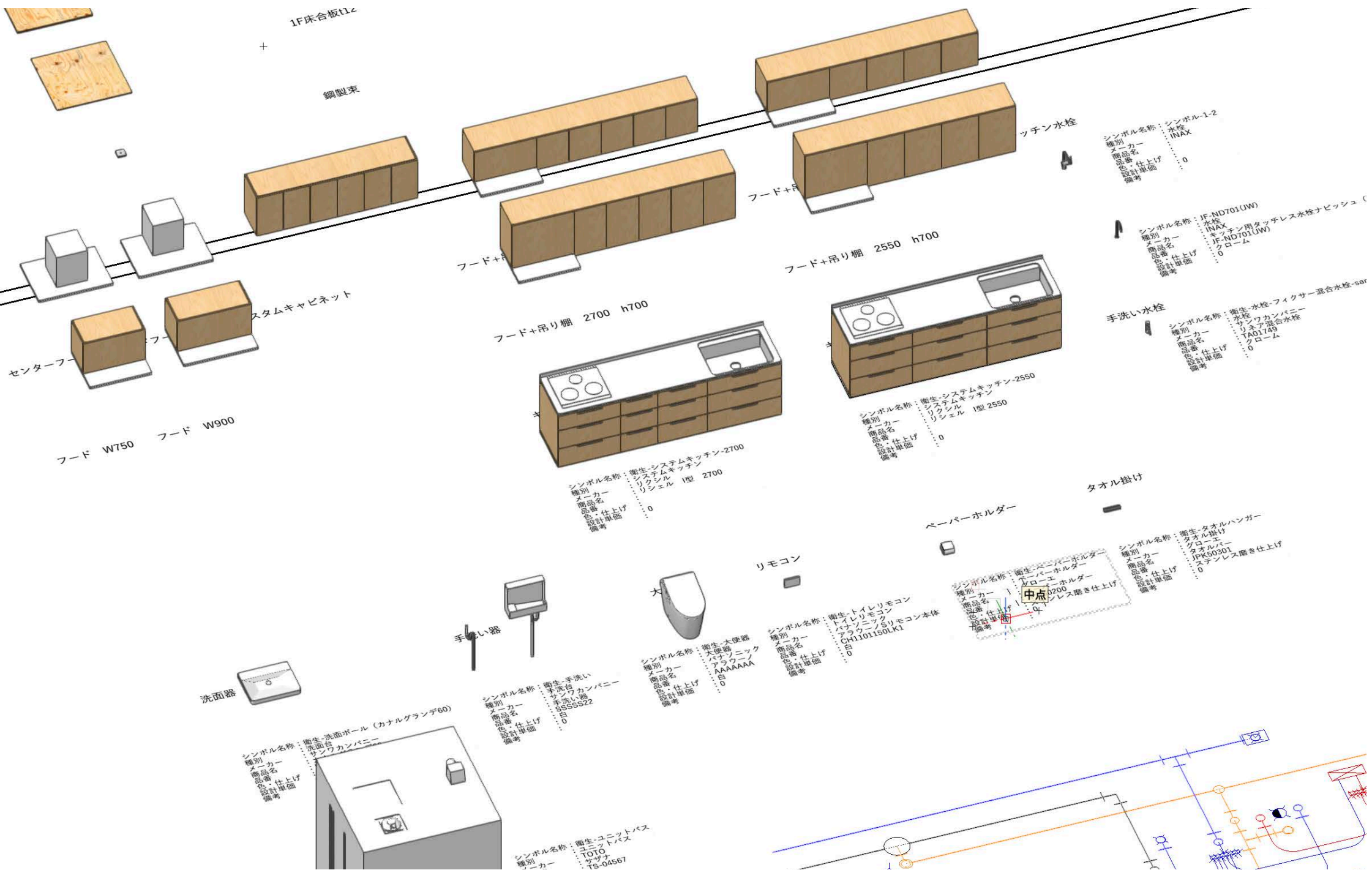
自由に情報を追加することが可能なこと











27000 28000 29000 30000 31000 32000 33000 34000 35000 36000 37000 38000 39000 40000 41000 42000 43000 44000 45000 46000

レイヤ: 基準面:

× ツールセット

× スナップ

× 属性

クラス...

クラス...

100%/100%

ドロップシャ...

10

計画敷地面積 面積(m²) 面積(坪)

272.60m² 82.46坪

番号 面積(m²) 面積(坪)

1 272.60m² 82.46坪

道路提供面積

番号 面積(m²) 面積(坪)

公園提供面積

番号 面積(m²) 面積(坪)

< 許容建蔽率・許容容積率の算定 >

(A+B)

許容建蔽率 83.02% 計画敷地面積 272.60m² 82.46坪

許容容積率 160.00% 許容建築面積 226.31m² 68.46坪

許容延床面積 436.16m² 131.94坪

(CとDで小さい方)

番号	面積	按分割合	許容建蔽率	按分建蔽率	許容容積率	按分容積率
95.18m ²	0.349	60%	20.95%	200%	69.831%	
177.42m ²	0.651	80%	52.07%	200%	130.169%	
合計 272.602m ²			(A)73.02%		(C)200%	

割増数 角地 防火/耐火

建蔽率の割増 (B)10% 建蔽率+10%(準防火地域+準耐火建築物)

道路幅員 4

低減係数 0.4

前面道路幅員による容積率の計算

0.4 × 4 = 1.6 (D)160%

< 建蔽率 >

敷地面積	許容建蔽率	許容建築面積
272.602m ²	83.02%	226.31m ²

< 計画建物 >

番号	建築面積
1	81.98m ²
合計	81.98m ²

< 既存建物 >

番号	建築面積
2	9.30m ²
合計	9.30m ²

< 除却建物 >

番号	建築面積
----	------

延べ床面積 (計画)

階	番号	名称	面積
1F	1	バス	3.312m ² 2.00畳
1F	2	脱衣室	1.656m ² 1.00畳
1F	3	洗面室	4.969m ² 3.00畳
1F	4	収納	0.828m ² 0.50畳
1F	4	収納	4.969m ² 3.00畳
1F	5	主寝室	9.937m ² 6.00畳
1F	6	階段	1.656m ² 1.00畳
1F	7	LDK	33.124m ² 20.00畳
1F	8	書斎	3.312m ² 2.00畳
1F	9	トイレ	1.656m ² 1.00畳
1F	10	エントランス	3.311m ² 2.00畳
1F	11	土間	3.314m ² 2.00畳
1F	12	和室	9.937m ² 6.00畳
			81.982m ²
2F			
2F	1	子供室A	9.937m ² 6.00畳
2F	2	子供室B	9.937m ² 6.00畳
2F	3	勉強部屋	4.969m ² 3.00畳
2F	4	階段	4.14m ² 2.50畳
			28.984m ²

建築面積 (計画)

階	番号	建築面積(m ²)
BL	1	計画建物 81.982m ²
		81.982m ²

建築面積 (既存)

階	番号	建築面積(m ²)
BL	2	既存建物 9.3m ²
		9.3m ²

建築面積 (除却)

階	番号	建築面積(m ²)
BL	3	除却建物 3.8m ²
		3.8m ²

延べ床面積 (既存)

階	番号	名称	面積
---	----	----	----

延べ床面積 (除却)

階	番号	名称	面積
---	----	----	----

延べ床面積 (不算入)

階	番号	名称	面積
---	----	----	----

< 容積率 >

敷地面積	許容容積率	許容延べ床面積
272.602m ²	160.00%	436.16m ²

< 計画建物 >

延べ床面積
合計 110.97m ²

< 既存建物 >

延べ床面積
合計 0.00m ²

屋根面積

延べ床面積(m ²)
102.898m ²

レイヤ: 基準面:

名前: *選択されている*

× ナビゲーション - デザインレイヤ

他のレイヤを: 表示+スナップ+編集

フィルタ: <すべてのレイヤ>

検索

表示設定

デザインレイヤ名

建物-ブロックプラン

外構-ブロックプラン

敷地-ブロックモデル

敷地-ブロックプラン

--確認--

確認-概算表

確認-延べ床面積表

確認-建築面積表

確認-敷地面積表

確認-外構面積表

--凡例--

凡例-構造RL

凡例-構造2F

凡例-構造1F

凡例-基礎

ワークシートはリソース化されている

＜今後の課題＞

数を増やしていくことも重要だが負荷も大きい。
他CADフォーマットのリソースの活用など効率的な方法を考える必要あり
建築情報の扱いを**共通化**する必要がある(IFC/OpenBIM)

正しく設定されてリソースがあれば設計効率は飛躍的に向上する
リソースが視覚的に確認できることは初期段階では有効

BIM標準ワークフロー



BIMワークフロー

90%
最終調整中

テンプレートやリソースに合わせたワークフロー
BIM設計の屋台骨

BIM標準ワークフロー

行った作業

ワークフローのブロック化

レゴのように仕様は統一し組み替えを自由
多様な設計手法に対応

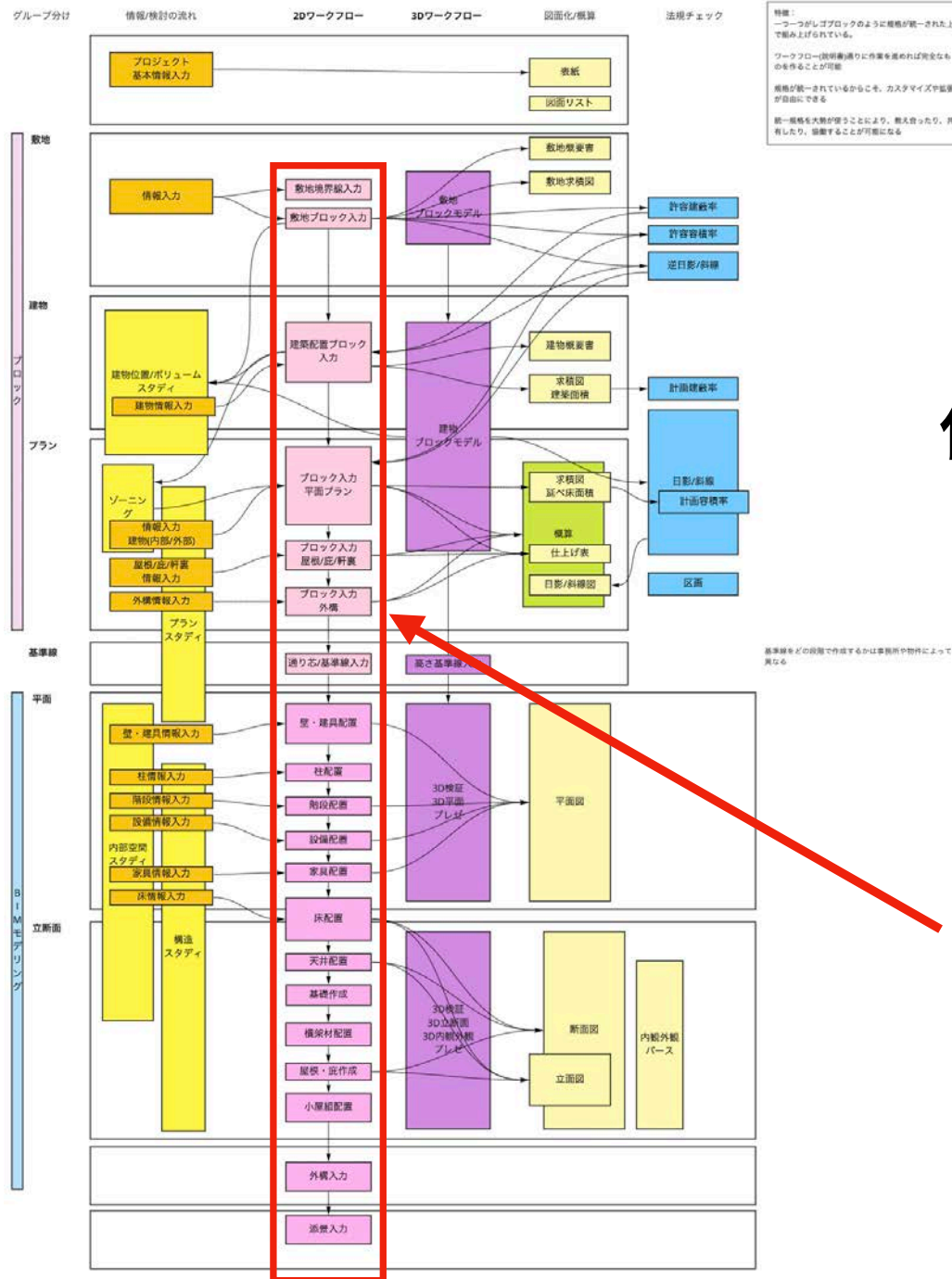
ワークフローの標準組み込み

ワークフローを組み込むことで、誰もが常に同じものを確認できる

作業の可視化

ワークフローの作業自体を可視化することで効率化+ミスを低減

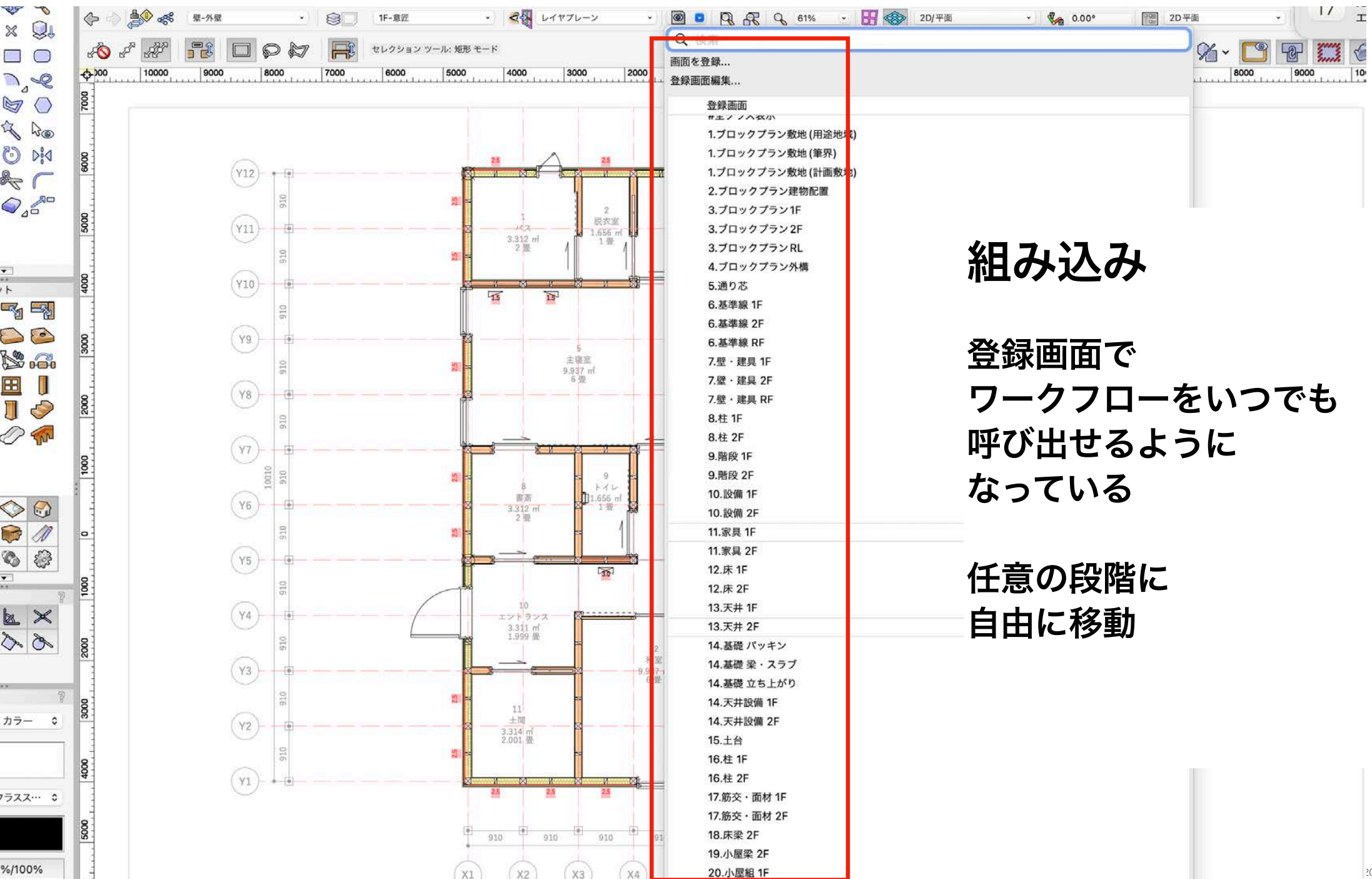
ワークフローは設計の設計図
いつでも同じところから開始できる必要がある
作業指示や作業把握のしやすさが重要



作業をブロックとして分割

ワークフローを体系化
関係性を整理

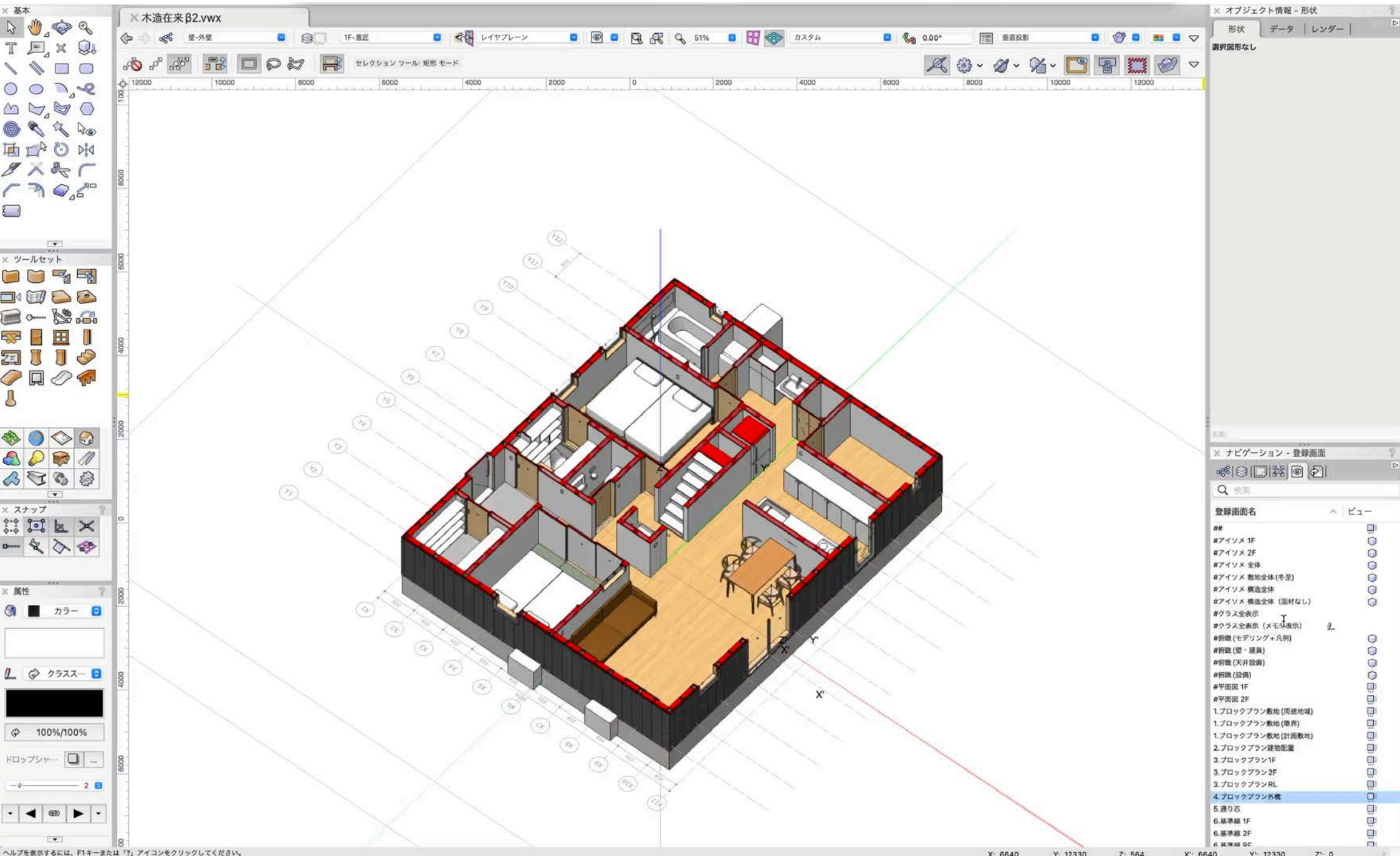
作業の多くを
2Dで行うことができる



組み込み

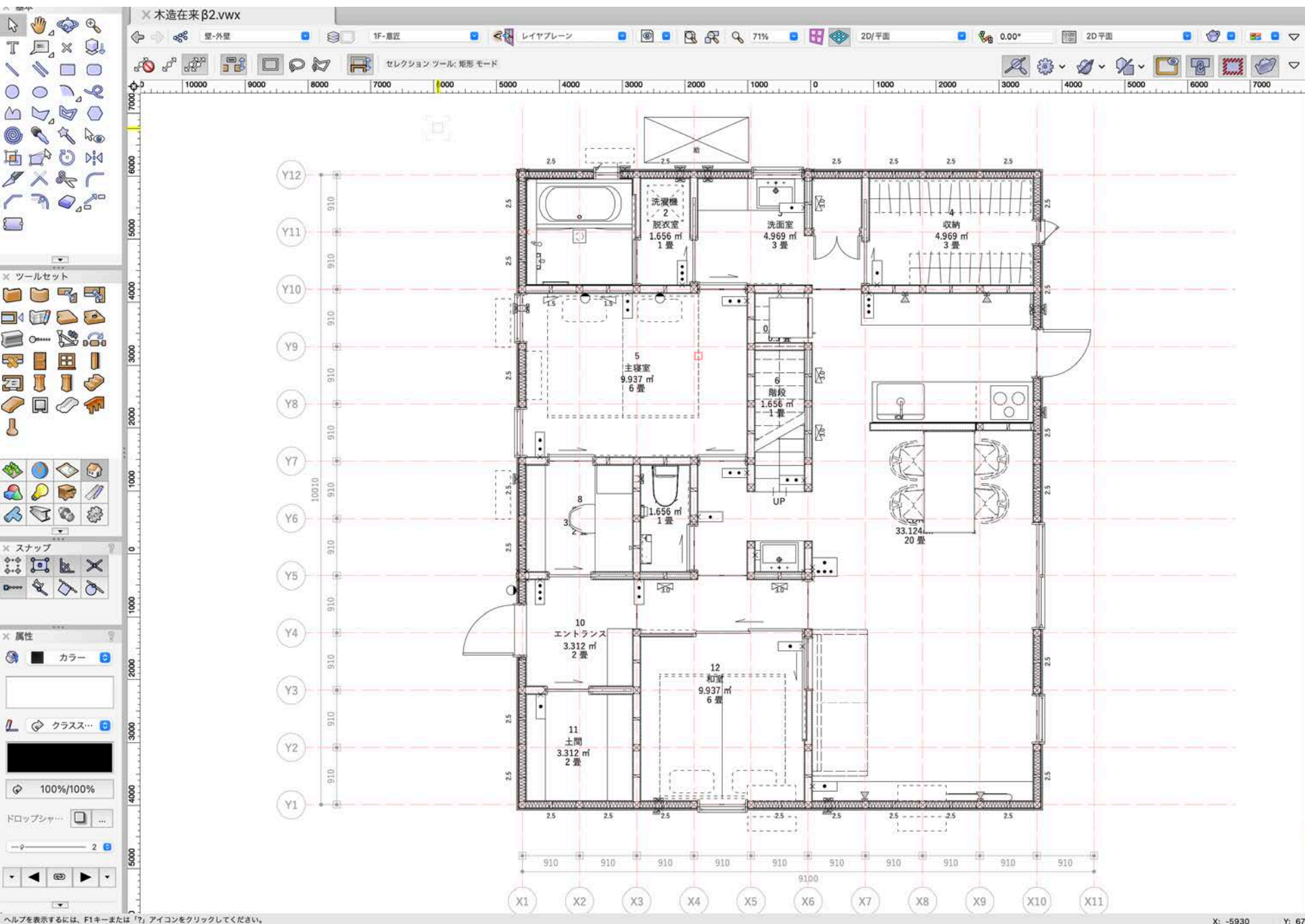
登録画面で
ワークフローをいつでも
呼び出せるように
なっている

任意の段階に
自由に移動



作業の可視化 デバッグへの活用

**条件設定で見た目を変え
視覚的に確認**



形状 データ レンダー

選択図形なし

名前

× ナビゲーション - デザインレイヤ

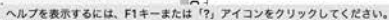
他のレイヤを: 表示+スナップ+編集

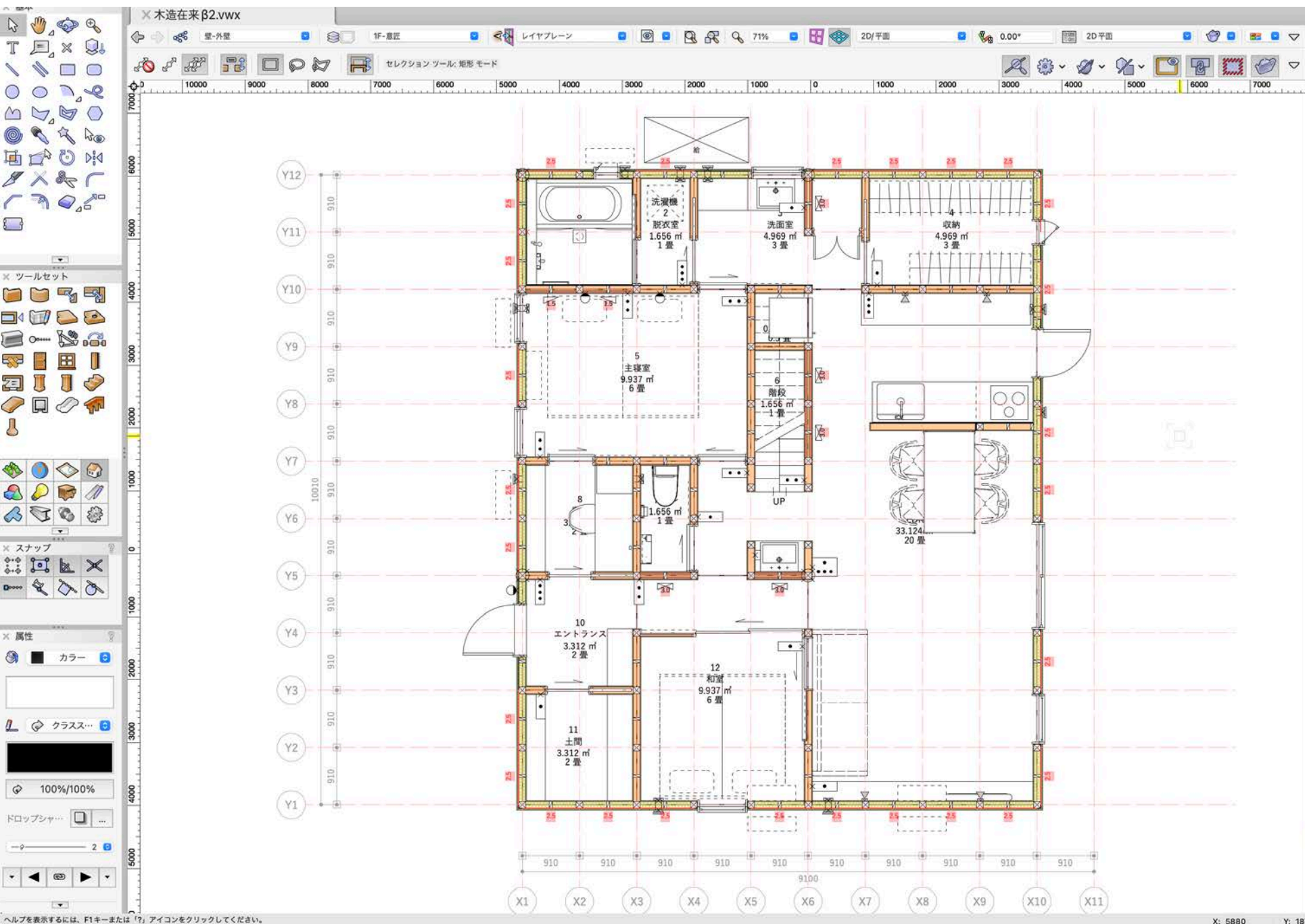
フィルタ: <すべてのレイヤ>

検索

表示設定	デザインレイヤ名	#	スト
☑	2F-構造	16	2F
☑	2F-天井設備	17	2F
☑	2F-天井	18	2F
☑	2F-設備	19	2F
☑	2F-意匠	20	2F
☑	2F-床	21	2F
☑	2F-床梁	22	2F
☑	2F-ブロックモデル	23	2F
☑	2F-ブロックプラン	24	2F
☑	---1F---	25	
☑	1F-基準線	26	1F
☑	1F-屋根	27	2F
☑	1F-小屋組	28	2F
☑	1F-構造	29	1F
☑	1F-天井設備	30	1F
☑	1F-天井	31	1F
☑	1F-設備	32	1F
☑	1F-意匠	33	1F
☑	1F-床	34	1F
☑	1F-土台	35	1F
☑	1F-ブロックモデル	36	1F
☑	1F-ブロックプラン	37	1F
☑	---BL---	38	
☑	基礎-基準線	39	BL

X: -5930 Y: 6760 L: 6992.36 A: 131.26°





形状 データ レンダー

選択図形なし

名前

× ナビゲーション - デザインレイヤ

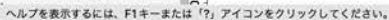
他のレイヤを: 表示+スナップ+編集

フィルタ: <すべてのレイヤ>

検索

表示設定	デザインレイヤ名	#	スト
☒	2F-構造	16	2F
☒	2F-天井設備	17	2F
☒	2F-天井	18	2F
☒	2F-設備	19	2F
☒	2F-意匠	20	2F
☒	2F-床	21	2F
☒	2F-床梁	22	2F
☒	2F-ブロックモデル	23	2F
☒	2F-ブロックプラン	24	2F
☒	---1F---	25	
☒	1F-基準線	26	1F
☒	1F-屋根	27	2F
☒	1F-小屋組	28	2F
☒	1F-構造	29	1F
☒	1F-天井設備	30	1F
☒	1F-天井	31	1F
☒	1F-設備	32	1F
☒	1F-意匠	33	1F
☒	1F-床	34	1F
☒	1F-土台	35	1F
☒	1F-ブロックモデル	36	1F
☒	1F-ブロックプラン	37	1F
☒	---BL---	38	
☒	基礎-基準線	39	BL

X: 5880 Y: 1870 L: 6170.19 A: 17.64°



X: 6950 Y: 910 L: 7009.32 A: 7.46°

データの可視化によって
設定の違いが視覚化されている

どのような情報に色をつけるかなどが
自由に設定できる

これにより設定ミスがないかなどを
素早く確認することができる

ワークシートも デバッグに活用

× - チェックシート-壁 @ 100%

ファイル 編集 表示 挿入 フォーマット データベース ヘルプ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	▶	チェックシート-壁								
2	▶	配置済み壁								
3	▶	ST 壁スタイル名	レイヤ	クラス	壁基準 (上)	壁基準 (下)	数量			
4	▶	48	48	48	48	48	73	-90		
4.1	BL	基礎梁 w250	凡例-基礎	基礎-梁	基礎梁-上端	基礎梁-上端	1	0		
4.2	BL	基礎梁 w250 (60+190)	凡例-基礎	基礎-梁	基礎梁-上端	基礎梁-下端	1	0		
4.3	BL	基礎立上りw150	凡例-基礎	基礎-立ち上がり	基礎立ち上がり-上端	基礎梁-上端	1	0		
4.4	BL	基礎立上りw150(60+90)	凡例-基礎	基礎-立ち上がり	基礎-立ち上がり上端	基礎梁-上端	1	0		
4.5	2F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(上階)	2F-意匠	壁-外壁	小屋梁-上端	床梁-上端	1	90		
4.6	2F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(上階)	凡例-壁2F	壁-外壁	小屋梁-上端	床梁-上端	1	0		
4.7	2F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(上階)	2F-意匠	壁-外壁	小屋梁-上端	床梁-上端	1	-180		
4.8	2F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(上階)	2F-意匠	壁-外壁	小屋梁-上端	床梁-上端	1	-90		
4.9	2F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(上階)	2F-意匠	壁-外壁	小屋梁-上端	床梁-上端	1	0		
4.10	2F	外壁105: サイディング(SOLIDO)+内: PB+クロス(上階)	凡例-壁2F	壁-外壁	小屋梁-上端	床梁-上端	1	0		
4.11	2F	外壁105: サイディング(SOLIDO)+内: PB+クロス(上階)	凡例-壁2F	壁-外壁	小屋梁-上端	床梁-上端	1	0		
4.12	2F	間仕切壁105: PB+クロス両面 2F	2F-意匠	壁-間仕切壁	天井	床	2	-90		
4.13	2F	間仕切壁105: PB+クロス両面 2F	2F-意匠	壁-間仕切壁	天井	床	1	-2,86320e-14		
4.14	1F	基本外壁150(30+90+30)	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.15	1F	基本外壁165(30+105+30)	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.16	1F	基本外壁180(30+120+30)	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.17	1F	基本間仕切壁170(20+30+20)	凡例-壁1F	壁-外壁	天井	床	1	0		
4.18	1F	基本間仕切壁100(20+60+20)	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.19	1F	基本間仕切壁150(30+90+30)	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.20	1F	基本間仕切壁165(30+105+30)	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.21	1F	基本間仕切壁180(30+120+30)	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	2	0		
4.22	1F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(1F)	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.23	1F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(1F)	1F-意匠	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	2	180		
4.24	1F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(1F)	1F-意匠	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	-90		
4.25	1F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(1F)	1F-意匠	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	2	2,24118e-14		
4.26	1F	外壁105: ガルバ+モイス+内: PB+クロス(1F)	1F-意匠	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	90		
4.27	1F	外壁105: サイディング(SOLIDO)+内: PB+クロス(1F)	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.28	1F	外壁120: サイディング(SOLIDO)+内: PB+クロス(1F)	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.29	1F	天井下壁: PB+クロス	1F-天井	壁-間仕切壁	床	天井	1	-90		
4.30	1F	天井下壁: PB+クロス	1F-天井	壁-間仕切壁	床	天井	3	90		
4.31	1F	天井下壁: PB+クロス	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	床	天井	1	0		
4.32	1F	天井下壁: PB+クロス	1F-天井	壁-間仕切壁	床	天井	1	0		
4.33	1F	天井下壁: PB+クロス	1F-天井	壁-間仕切壁	床	天井	1	-180		
4.34	1F	床段差壁: PB+クロス	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	床仕上げ	床仕上げ	1	0		
4.35	1F	汎用外壁100	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.36	1F	汎用外壁150	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.37	1F	汎用外壁150	凡例-壁1F	壁-外壁	床梁-上端	土台-上端	1	0		
4.38	1F	汎用外壁200	凡例-壁1F	壁-外壁	意匠	意匠	1	0		
4.39	1F	汎用間仕切壁150	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.40	1F	汎用間仕切壁100	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.41	1F	汎用間仕切壁150	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.42	1F	汎用間仕切壁150	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.43	1F	汎用間仕切壁200	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.44	1F	間仕切壁105: PB+クロス両面 1F	凡例-壁1F	壁-間仕切壁	天井	床	1	0		
4.45	1F	間仕切壁105: PB+クロス両面 1F	1F-意匠	壁-間仕切壁	天井	床	10	0		
4.46	1F	間仕切壁105: PB+クロス両面 1F	1F-意匠	壁-間仕切壁	天井	床	8	-90		
4.47	1F	間仕切壁105: PB+クロス両面 1F	1F-意匠	壁-間仕切壁	天井	床	4	90		
4.48	1F	間仕切壁105: PB+クロス両面 1F	1F-意匠	壁-間仕切壁	天井	床	1	180		
5	▶									
6	▶	凡例にある構造材								
7	▶	ST プラグインスタイル名	レイヤ	クラス			数量			
8	▶	0	0	0	0	0	0			
9	▶									

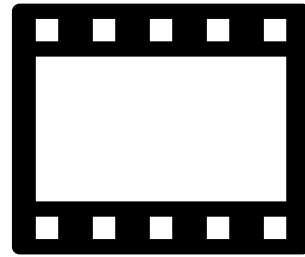
ワークシートを使って
情報を一覧で書き出すと
特異な情報を持つオブジェクトが
簡単に見つかり
設定ミスが素早く修正できる

今後の課題

S0～S3への対応

CAD自体も機能拡張が続く現状でより効果的なワークフローを模索し続ける必要がある
S0～S3への対応はワークフローの組み立てで対応可能だが、個別の進め方との折り合いをどうつけるかは今後の課題

オンデマンド講習ムービー



オンデマンド講習ムービー

20%

制作中

テンプレート、ワークフローと完全に連動している
ムービーを作ることによってテンプレート、ワークフローの問題も確認できるがその対応で制作に時間がかかっている

オンデマンド講習ムービー

行った作業

フロー再現ムービーの作成

作業手順が確実に確認できる

オンデマンド環境の構築

いつでも学ぶことができる

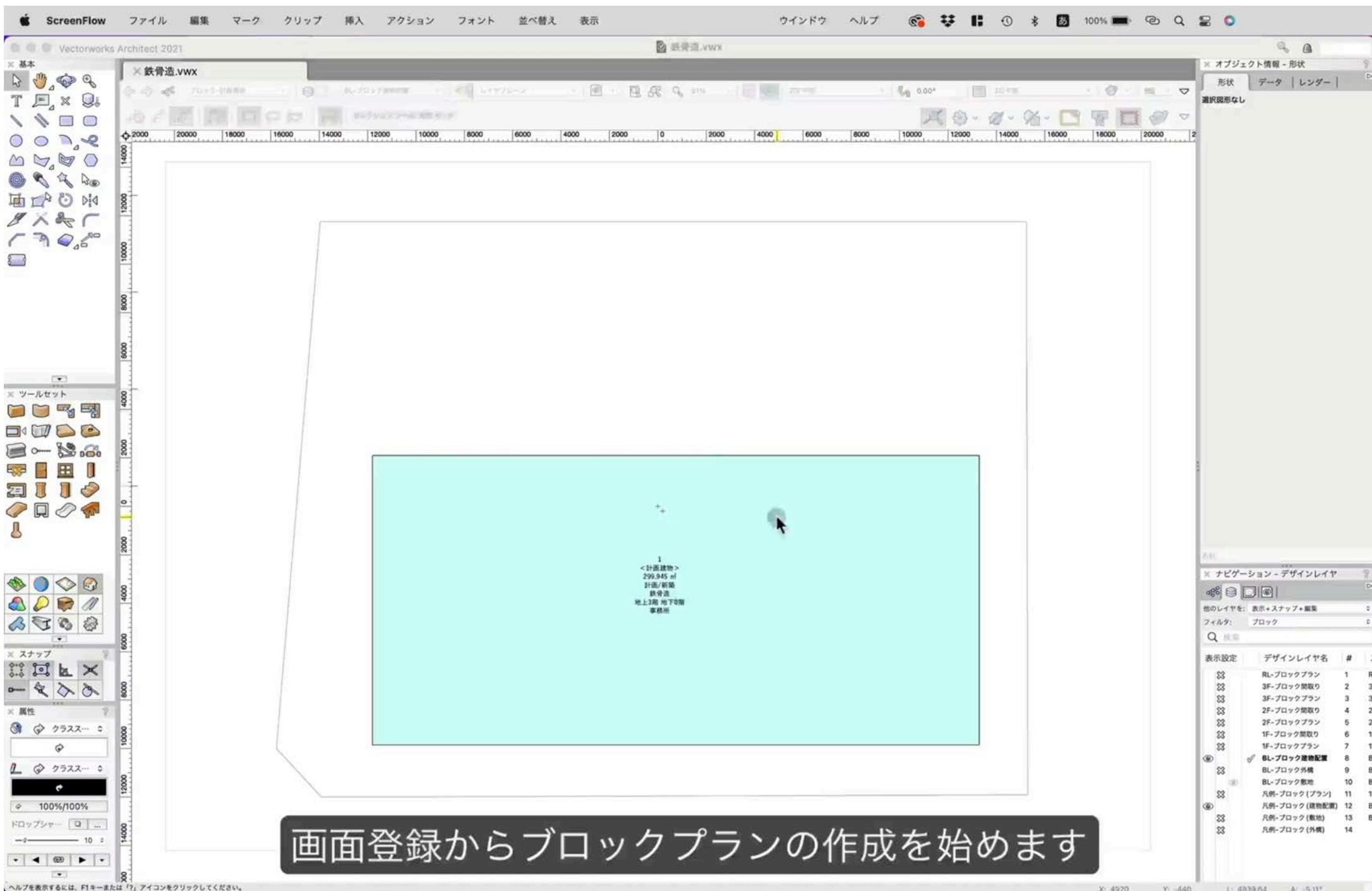
ワークフローとの完全一致

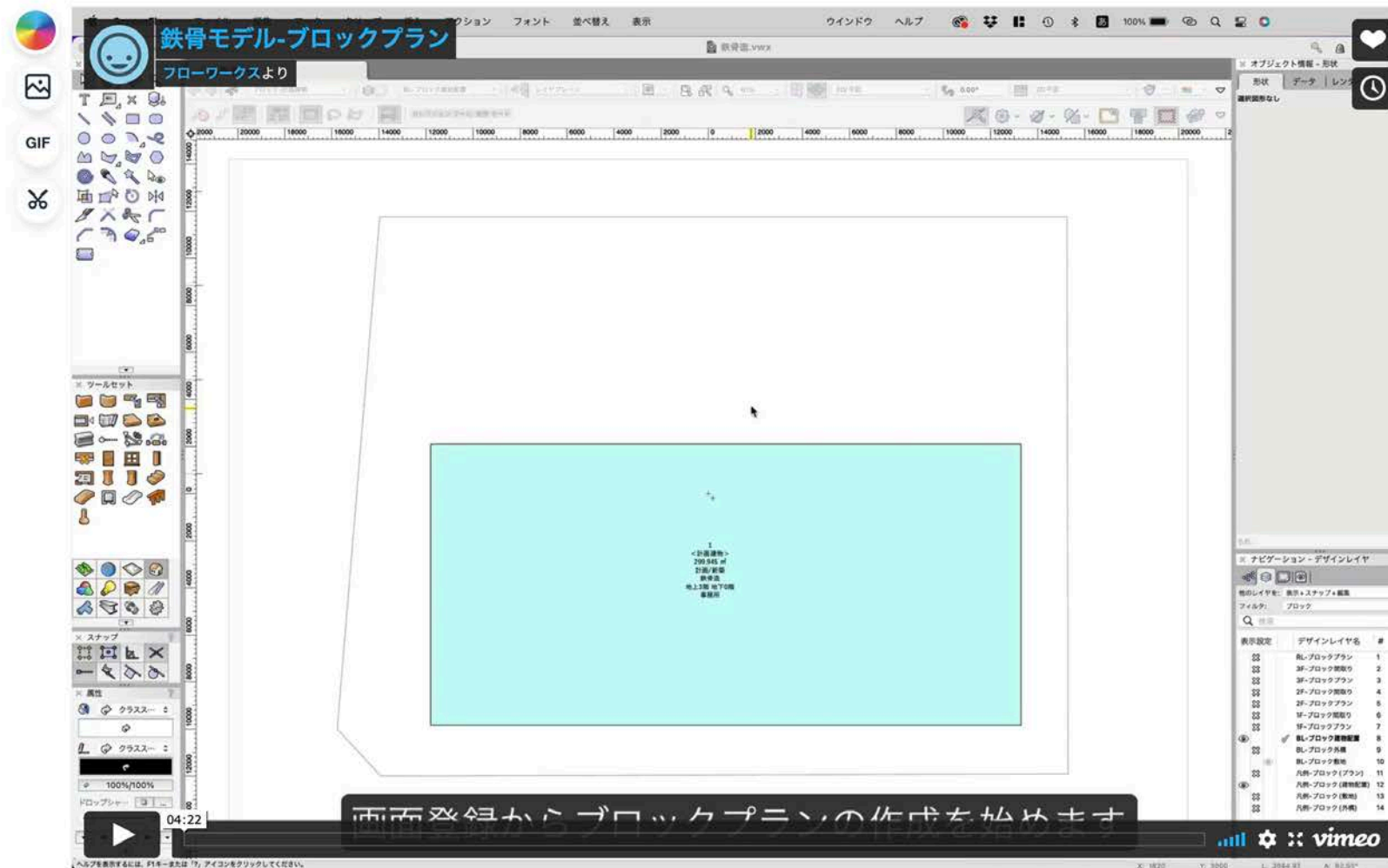
ワークフローと連動していることで効率的に学べる

講習とセットになっていないと効果を発揮するのに時間がかかる

いつでもどこでも学べる環境があることが

設計者には重要





鉄骨モデル-ブロックプラン

Vimeoの限定公開オンデマンド機能を利用
いつでもどこでも確認が可能

今後の課題

公開レベルの検討

追加/メンテナンス等、持続させるための収益モデルの検討
より実務に即した形に改善を続ける

検証

40%

スターターパックの検証を開始

検証での目標

スターターパックの**実効性の検証**

実際の作業を行い、良い点と改良点の洗い出しを行う

現時点で感じられる効果と課題

中小規模設計者に対しBIM設計の総合的支援環境が整う意味

個々では対応しきれない現実を乗り越える
総合的な支援環境の必要性
スターターパックの提供は総合的な支援

<効果>

総合支援環境が整うことでBIMの概念と設計作業を**理解してもらいやすくなった**。
ことは大きい意味があると思われる。
部分的に機能を理解しても効率的にBIMを運用することは難しい

総合的なBIM導入環境が整い始めたことで**既に導入負荷が大きく低減**始めている。
ただ**多様な設計手法に対する対応は大変**だろうと予想される。

また、
足場ができたことで、実施設計や現場監理への道筋も組み立てやすくなってきた。

BIMプラットフォームはこの総合支援環境を組み込むことでより効果的に機能すると考えられる

利用者からのフィードバック

スターターパックの部分的な利用の開始

<効果>

手順が決まっており、設定が終わっている状態で、操作ムービーがあれば、**分からないことがない。**

作業の開始時点で悩まないため**時間のロスが少ない**

フローが決まっているので問題がどこで発生したかをすぐに**把握し相談しやすい**

フローに沿って行うことで自身が**気が付いていなかったことも**知ることができる

新人でも**間違いなく**作業が進む

<課題>

想定外の事態が起きるとお手上げになる。

簡単になればなるほど**ブラックボックス化**するためカスタマイズが難しい
ワークフローを外れカスタマイズしようとする**と隠されていた大変さ**が牙をむく

建築の質は効率性だけでは語れない。

質向上のための新しいアプローチが今後求められてくる。

過去のやり方から意識的に離れられない



支援し続ける必要がある

作業手順の組み込み

非常に高い効率化を生む

<効果>

- いつでも誰もが**同じ状態**から作業を開始できることで
→不要な準備手間がなくなり、**設定ミスなく**効率的に作業を進められる
- **同じワークフロー**を使うことで
→事務所内、共同設計メンバー間で**指示や確認がしやすく**間違いが減る
- ワークフローによってプロジェクトの**進捗**が見える化することで
→**工程管理がしやすくなる**
- ワークフローが設定されることで
→問題の特定がしやすくなり、**問題解決が行いやすくなる**

<課題>

ワークフローにどれだけ強度と柔軟性があるか

ワークフローに設計を合わせるか、設計にワークフローを合わせるか

作業手順ブロックの組み替え

多様な設計手法に合わせる

<効果>

- **オブジェクト指向**のプログラムの考えに近いので、利用者は詳細な設定を考えなくても、ワークフローの組み替えが可能になり、これまでの**設計手順を変えなくてもBIM設計が進められる**ようになった。(特殊なものはカスタマイズ必要)

- **レゴ**と同じく仕様が統一されているためワークフロー組み替えても、容易く**他プロジェクトへの応用や再利用**が可能となる。リソースのアップサイクル。

- 基本的な方法が共通するため**情報交換等が行いやすくなる**

<課題>

- 作業手順は設計者の**個性と結びついて**おり、組み替え自由でも拒否反応を示すことがある。それをどうするか。
- 組み込まれたワークフローの実際の組み替え作業には関係する**機能をきちんと理解している必要がある**

その他の課題

進めば進むほど個人ができるレベルを越していく

BIM普及期に生じるBIM人手不足をどうするのか

慣れとの戦いにどう終止符を打つか

完全な3DBIMデータ化は現実的か

共同設計の技術的課題と可能性

今回のスターターパックは全てを**クラウド経由の共同作業**で実施。様々な問題点が明らかになった。

- ・ 分からない人が分かる人に教えてもらう段階では**効率は低くなる**
- ・ 方法論が決まっていない時点では**ミスが多発**する
 - ・ できる人に高負荷の**作業が集中**する
- ・ ソフトウェアの技術的な問題がより**多くの問題を誘発**する

最初の3つは実は長く続く問題ではない。

問題は**ソフトウェアやクラウドに原因**があった時。この修正は難しく回避が必要になるがソフトやクラウド側がこの内容を公開していないことが多く、遭遇すると**非常に大きな負荷**となる。

ただし、一度その片鱗に触れてしまうとチーム設計や組織設計を行う者にとってクラウド経由の共同作業は非常に**魅力的で必須の手法**となるのは間違いない。

現時点ではメーカー側の努力に期待するしかないが、
強固に安定した場合、BIMと連動して中小規模設計者に
BIMの大きなうねりが起きると考えられる。

普及に向けて

結局 2次元の図面でしょ？

をどう考えるか

3D+建築情報の価値を どう捉えるのか？

BIM設計の価値を生み出す方法はまだまだ多くある

さまざまな効果を証明していくしか無い

連携が必要

普及する素地
教育への展開

設計者
関連団体組織
国行政機関
メーカー/販売店
教育機関

BIM習得環境の充実

柔軟性の確保
持続性の確保
向上性の確保
互換性の確保

2D BIM/2.5D BIMというジャンルの確立

BIMマネージャーの育成
(SE的な存在)

設計者タイプ別スターターパック

最新技術に対する対応

CEDXMフォーマット

(ソフトがデフォルトで対応済み)



プレカット

wallstat

限界耐力計算

LiDERスキャン
点群

現状でも可能だが
取り込みからワンストップで
ソフトが対応予定

最新技術対応は小規模設計者には**負担**となる
ソフト側での対応が基本となる

中間報告2

BIMスターターパック進行状況と課題

フローワークス合同会社 横関 浩